Pioneer sound.vision.soul

PURE vision

プラズマディスプレイ

PDP-5000EX

「据え付け」について

- お客様がご自身で本機の取り付けを困難だと思われる場合は、販売店にご相談ください。
- なお、据え付け、取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

インターネットによるお客様登録のお願い

http://www.pioneer.co.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

このたびは、パイオニア製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

- 本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- なお、「取扱説明書」は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

異常時の処置

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

- 万一、本機を落としたり転倒させることにより、キャビネットあるいはパネルを破損した場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

- 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。
また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

- 電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷きになったりしないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うと、気づかずに重いものを載せてしまうことがあります。重いものを載せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

- AC変換プラグを使用する場合、電源プラグのアース線は、アース端子に接続してください。コンセント端子に差し込むと、感電や火災の原因となります。

- 壁掛け工事は、工事専門業者または販売店にご依頼ください。
工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

⚠警告

- 本機は設置用のスタンドが付属していません。床や台の上に設置する際は、別売の専用スタンドをご使用ください。
  それ以外の方法で設置すると、倒れたり、壊れたりして、けがの原因となります。

- ぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。
  落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

使用環境

- 本機の内部に水が入ったり、濡れないようご注意ください。火災・感電の原因となります。

- 本機の内部に水が入ったり、濡れないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

- 本機のキャビネットを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

- 前面パネルには衝撃を加えないでください。ディスプレイの前面パネルに、たたくなどの衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。
  ガラスが割れた場合には、破片でけがなどをしないよう取り扱いに注意し、販売店に修理をご依頼ください。

⚠注意

設置

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど高温、多湿になる場所あるいは油煙やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 放熱を良くするため、他の機器や壁などから以下の間隔を取って設置してください。
  - ◆ 左右背面 10 cm 以上、上 50 cm 以上

  また、次のような使い方をしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  - ◆ 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
  - ◆ じゅうたんやふとんの上に置く。
  - ◆ テーブルクロスなどをかける。
  - ◆ 横倒しにする。
  - ◆ 逆さまにする。

- 本機は質量が 39.8 kg あり、奥行がなくて不安定なため、開梱や持ち運び、および設置は２人以上で取っ手を持って行ってください。
  けがの原因となることがあります。

⚠注意

- 本機は大型で重量がありますので、転倒した場合けがや事故の原因となることがあります。
  転倒を防止するために、丈夫なひもとフック金具を使用して、壁や柱などの強度の高いところにディスプレイを固定してください。

- 移動させる場合は本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コード類を外さずに移動するとコードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。
  アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コード、転倒防止具を外したことを確認のうえ、行ってください。

使用方法

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池のお取り扱い

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。

- 電池をリモコン内にセットする場合、極性表示（＋極と－極）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。

- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。

- 長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

保守・点検

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
  感電の原因となることがあります。

- ３年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

- ディスプレイ背面にある通気孔は、月に１回を目安に掃除機でほこりを吸い取ってください（このとき掃除機は「弱」に設定してください）。また、通気孔のお手入れは必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ほこりをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。

使用上のご注意（守っていただきたいこと）

⚠注意

お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

プラズマディスプレイについて

プラズマディスプレイの画素欠けについて

- プラズマディスプレイは、微細な画素の集合体で非常に精密な技術で作られていますが、ごく一部の画素が光らなかったり常時点灯する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

電磁波妨害について

- 本機は公的規格を満たしていますが、若干のノイズが出ています。「AMラジオ」や「パソコン」、「ビデオ」などの機器を近づけると妨害を与えることがあります。このときは機器を影響のない所まで本機から離してください。

ファンモーターの音について

- ディスプレイ周辺の温度が高くなると、冷却用のファンモーターの回転数が上がります。そのため、ファンモーターの音が大きく感じられる場合があります。

駆動音について

- 本機に電源を入れると駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

プラズマディスプレイの温度について

- 本機を長時間使用すると、ディスプレイの一部が熱を持つことがあります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。

プラズマディスプレイの保護機能について

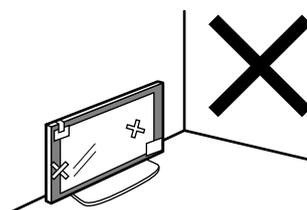
- デジタルカメラの画像やパソコンの画面など、動きのない映像を長い時間表示すると画面がやや暗くなります。これは、動きの少ない映像を約3分間検知すると、自動的に明るさを調整して画面を保護する機能が働くためです。故障ではありません。

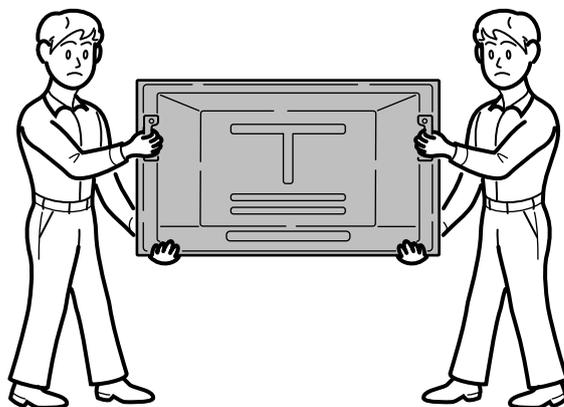
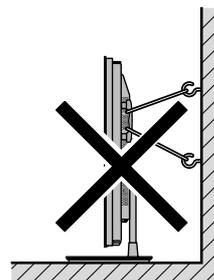
守ってください

すべての接続が終わってから電源プラグをコンセントにつないでください

- 本機と他の機器との接続をする前に、電源プラグを抜いてください。すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

背面の「取っ手」について

- ディスプレイを移動する場合は、必ず二人で作業を行い、背面の「取っ手」を使用してください（片側の「取っ手」のみでの移動は行わないでください）。図のように使用してください。

- 片側の「取っ手」のみを使用して本機の移動は行わないでください。
- 本機を設置する際は吊り下げ目的で「取っ手」を使用しないでください。また、転倒防止措置の手段としても使用しないでください。

周辺温度に注意してください

- 本機は、周囲温度0 ℃～40 ℃の範囲内でご使用ください。また、本機を冷え切った状態のままで室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、室温を徐々に上げてからご使用ください。

ディスプレイの置き場所に注意してください

- ディスプレイを直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。前面保護パネルの光学特性が変化し、変色したり、そりの原因となります。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

画面の焼き付きと残像について

静止画像など同じ絵柄の映像を長時間表示すると、画面に残像が残る場合があります。残像の原因には次の2つがあります。

1. 電気負荷の残留による残像

輝度の非常に高い映像を1分以上表示すると、電気負荷の残留により残像が出ることがあります。これは動画を表示するとやがて消えます。残像が消えるまでにかかる時間は、もとの映像の輝度と表示時間によって異なります。

2. 焼き付きによる残像

プラズマディスプレイに同じ絵柄を長時間表示しないでください。同じ絵柄を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示したりすると、蛍光素材の焼き付きにより残像ができることがあります。この場合は、動画の映像によって目立たなくなることがありますが、完全に消えることはありません。また、2画面表示、画面サイズ4：3、フル14：9、シネマ14：9や、上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり短時間でも毎日くり返し表示すると同様の焼き付きによる残像が残ります。

焼き付きを避けるために

- 著作権者の権利を侵害する恐れがある場合を除き、映像を画面サイズにいっぱいに映してお楽しみになることをお勧めします。
(著作権、画面サイズの切り換えについては ☞29 ページ)
- 「省エネ機能を使う」の「消費電力」の設定（☞45 ページ）により、焼き付きの発生を軽減することができます。

赤外線について

- プラズマディスプレイは原理上赤外線を出しています。使用状態によっては周囲の機器のリモコンが効きにくくなったり、赤外線を使用しているワイヤレスヘッドホンにノイズが入る場合があります。その場合は、影響を受けないような場所に機器の受光部を設置してください。

国外では使用できません

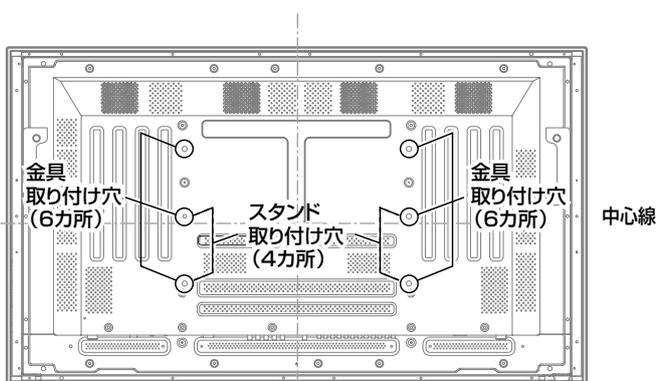
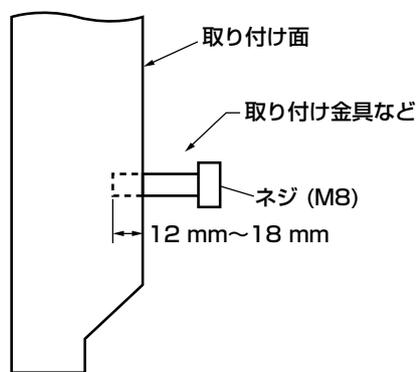
This product cannot be used in any other countries.

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

設置時の注意事項

本機を設置する前に、以下の注意事項をお読みになり、正しく安全に設置してください。

当社別売のスタンドまたは金具などを使って設置するとき

設置は販売店などに依頼してください。
スタンドで使う取り付け穴（4カ所）、および金具で使う取り付け穴（6カ所）は下図のとおりです。必ず付属のネジをお使いください。
詳細はスタンドまたは金具などの取扱説明書をお読みください。

▲背面図

▲側面図

⚠注意

- 必ずディスプレイの中心線に対して上下左右対称な4カ所以上の取り付け穴をお使いください。
- ネジはM8を使用し、本機の取り付け面より本機内に12 mm〜18 mm入るものをお使いください。（背面図、側面図参照）
- 背面に開いている通風孔はふさがないようにしてください。
- 本機はガラスを使っていますので、必ず歪みのない面に取り付けてください。
- 上記の指定以外のネジ穴は指定製品専用です。指定製品以外の固定にはご使用にならないでください

ご注意

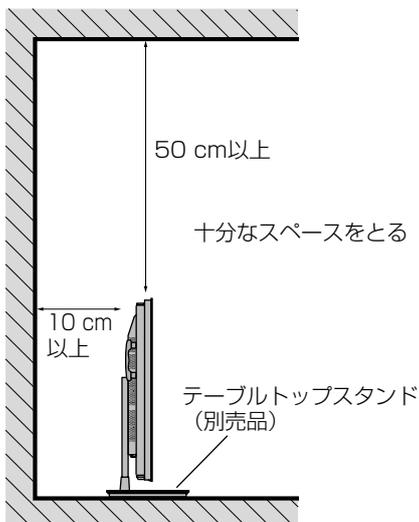
- 当社製品以外の部品による事故損傷については、当社は一切責任を負いません。
- 取り付け、取り外しは、専門業者にご依頼ください。
- 本機には設置用のスタンドは付属していません。
  設置の際は、別売のテーブルトップスタンド（PDK-TS23）や壁掛け金具をご使用ください。

オプション（別売）

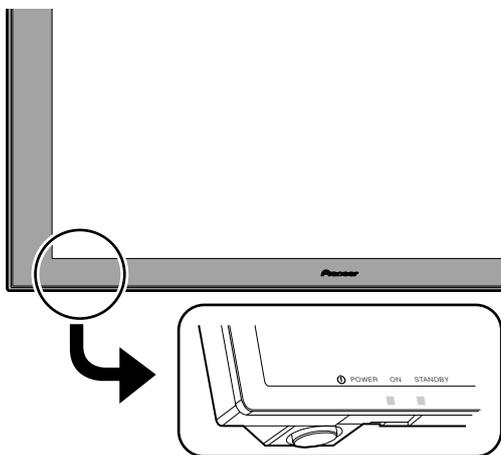
（詳しくはお買い求めの取扱店にお問い合わせください。）

1 テーブルトップスタンド：（PDK-TS23） PDP-5000EXのディスプレイスタンドです。

2 壁面設置用ユニット： 壁面に本機を取り付けるための壁面設置用ブラケットです。

設置スペースについて

⚠注意

- ディスプレイの背面部・天面部は十分なスペースをとって設置してください。

⚠注意

上図に示した本機の左下部分は、主電源スイッチと表示のための部品があり、一部凹凸があります。
このため搬送時や、設置の際、過度な衝撃や無理な力がかかると破損の恐れがありますので、ご注意ください。

壁掛け設置する際の注意事項

1. 設置場所について
   - 人が容易にぶら下がったり、寄りかかったりできる場所への設置はできるだけしないでください。
   - 屋外や温泉など湿気の多い場所、水辺の近くには設置しないでください。
   - 振動や衝撃の加わるような場所には設置しないでください。
   - 壁の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、工事専門業者または販売店にご相談ください。

2. 異常や不具合が発見された場合には、すみやかに販売店または工事専門業者に修理を依頼してください。

3. 壁掛けの設置金具や壁面の取り付け部など、目につかない所が破損し、本機が落下する危険が生じる恐れがありますので、本機を壁掛け設置する際および点検修理時や内装工事の時などに、必ず工事専門業者または販売店に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。

4. 本機を壁掛け設置して長期間使用されると、環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足する恐れがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。

壁掛け設置されたお客様へ

当社製の壁掛けユニットは、工事専門業者により安全な設置・据え付けが行われることを前提として発売されています。壁掛け設置をされているお客様は以下のことをお守りください。

- 壁掛け設置されているプラズマディスプレイ（本機）には、ぶら下がったり力を加えたりしないでください。
- 壁掛け設置されているプラズマディスプレイ（本機）や壁掛けユニットには、物をぶらさげたりしないでください。
- 地震が起きた場合には、壁掛け設置されているプラズマディスプレイ（本機）や壁掛けユニットの落下・転倒など万一の場合に備え、本機や壁掛けユニットから離れてください。
- 壁掛け設置の際には、地震などの災害や万一の場合に備え、二重の落下防止策（チェーンなどでの固定）を、工事専門業者にご依頼ください。

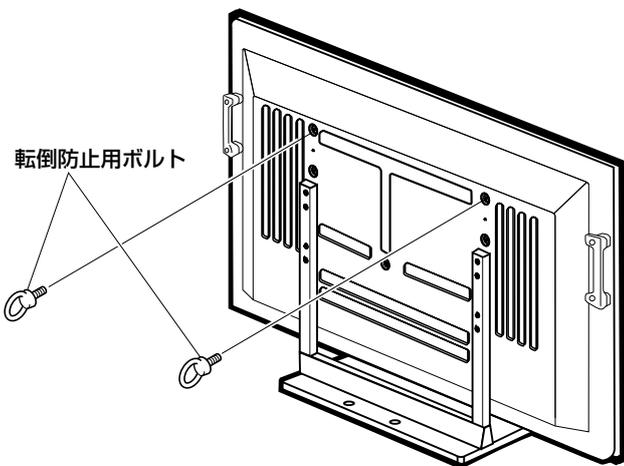
⚠注意

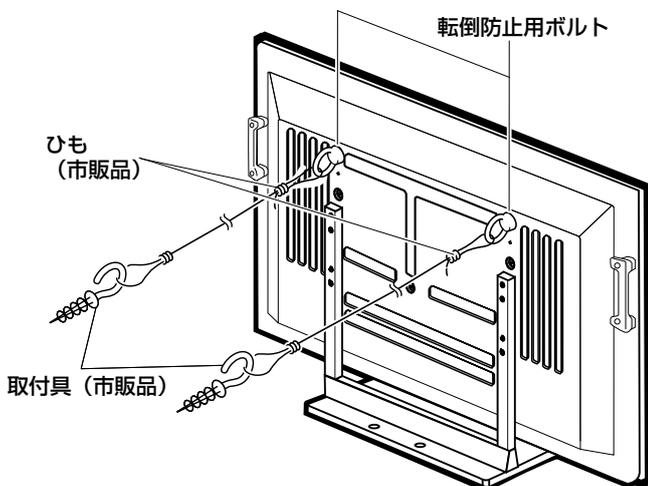
- 壁掛け設置をする際には、必ず専用の金具を使用してください。また設置・据え付けは工事専門業者に依頼してください。

設置後の転倒防止のお願い

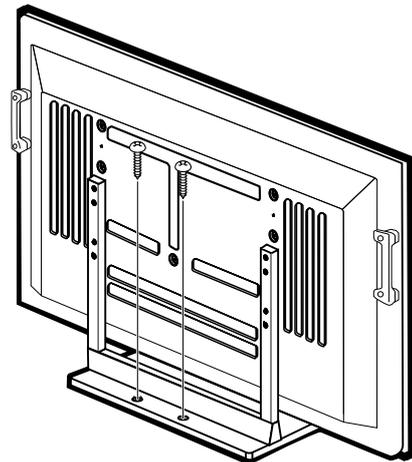
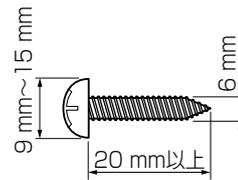
本機は大型でかなり重量があります。転倒した場合けがや事故の原因となる恐れがあります。
安全にご使用いただくために、設置後は必ず転倒防止処置をしてください。

壁を利用する方法

1 ディスプレイ背面に、付属の転倒防止用ボルトを取り付ける

2 壁や柱などの堅牢な場所に、丈夫なひもでしっかりと固定する

ご注意
- 左右対称に、しっかりと固定してください。
- 市販のひも、取付具などをお使いください。

ラックなどに固定する方法

1 市販のネジで、スタンドを次の図のように固定する

ご注意
- 本機はかなり重量があるため、設置するラックなどはこの重さに耐えられる堅牢なもので、かつ十分な幅と奥行きがあり、転倒しない台を使用してください。
- 市販のネジを使用するときは、ラックなどの材質に合った、直径6 mm のネジをご用意ください。ネジの種類についてはお買い上げの販売店や工事店にご相談ください。
- 別売の専用フロアスタンドをご使用の場合、転倒防止処置については、フロアスタンドの取扱説明書に従ってください。

プラズマディスプレイのお手入れのしかた

ご注意
- キャビネットはベンジン、シンナーなどで拭いたり、殺虫剤など、揮発性の薬品をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチック部品が変質したり、塗料がはがれることがあります。
- 前面パネル部およびキャビネットの表面を濡れた布で拭くと、水滴がパネルのすき間や通風孔をつたって本機内部に侵入し故障の原因になることがあります。

パネルの表面およびフロントキャビネットの光沢面のお手入れのしかた

本機のパネル表面、フロントキャビネット光沢表面は、付属のワイピングクロスで軽くから拭きしてください。

ご注意
- ほこりのついた布や硬い布で拭いたり、強くこすったりすると表面に傷がつくことがあります。
- パネル表面を濡れた布で拭くと、水滴などが本体の表面をつたって内部に侵入し故障の原因になることがあります。

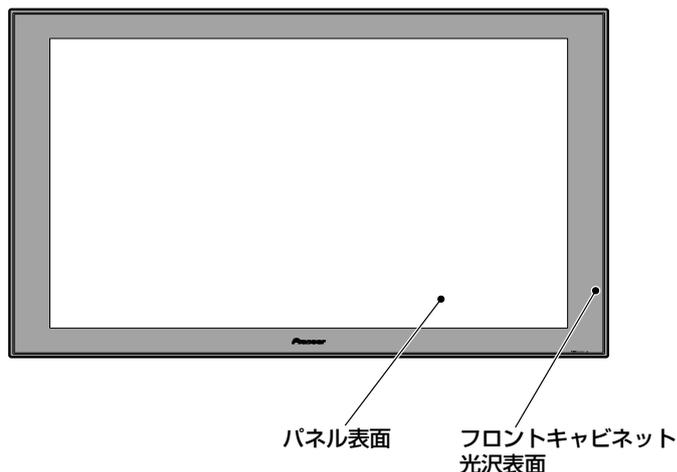
から拭きしても汚れが落ちない場合は、当社カスタマーサポートセンターへご相談ください。

付属ワイピングクロスの取り扱いについてのお願い

- ほこりなどで汚れたままのワイピングクロスを使用すると、本機の表面に傷がつく恐れがあります。ワイピングクロスが汚れたときには、以下のように洗濯をしてください。
  中性洗剤を1 %程度に薄めて、もみ洗いをしてください。その後、洗剤が残らないように十分にすすぎ洗いをし、乾燥後ご使用ください。
  洗濯した際に色落ちする場合がありますが、拭き取り性能には問題ありません。
- ワイピングクロスを紛失されたり汚れがひどくなった場合は、お近くの販売店にてワイピングクロスをご注文いただくか、直接部品受注センター(取扱説明書の裏表紙に記載)で購入をお願いします。
  また、代用品として市販の眼鏡レンズ拭きなどを購入されてもご使用できます。

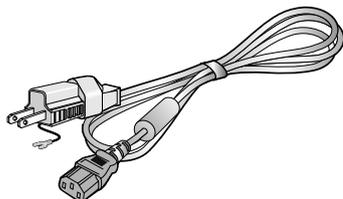
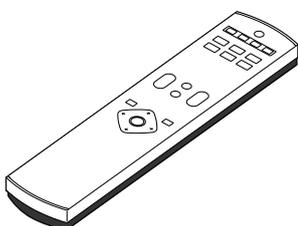
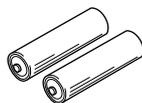
キャビネットのお手入れのしかた

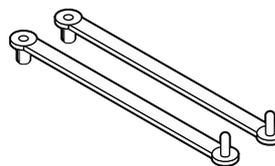
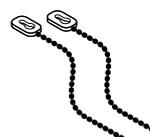
キャビネットの表面はきれいな柔らかい布(綿、ネルなど)で軽くから拭きしてください。

ご注意
- ほこりのついた布や硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつくことがあります。
- キャビネットにはプラスチックが多く使われているのでベンジン、シンナーなどで拭いたりしないでください。変質したり、塗料がはがれることがあります。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- キャビネットの表面を濡れた布で拭くと、水滴などが本体の表面をつたって、内部に侵入し故障の原因になることがあります。

付属品を確認する

付属品

以下の付属品をご確認ください。

① AC変換プラグ付き電源コード×1
（ノイズフィルター付き、2 m、3ピン）

② リモコン×1

③ 単3形乾電池×2

④ ワイピングクロス×1

⑤ スピードクランプ×2

⑥ ビーズバンド×2

⑦ 転倒防止用ボルト×2

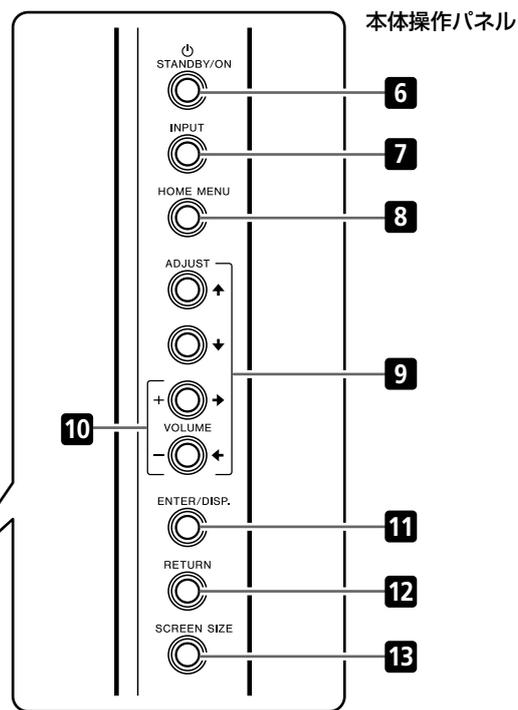
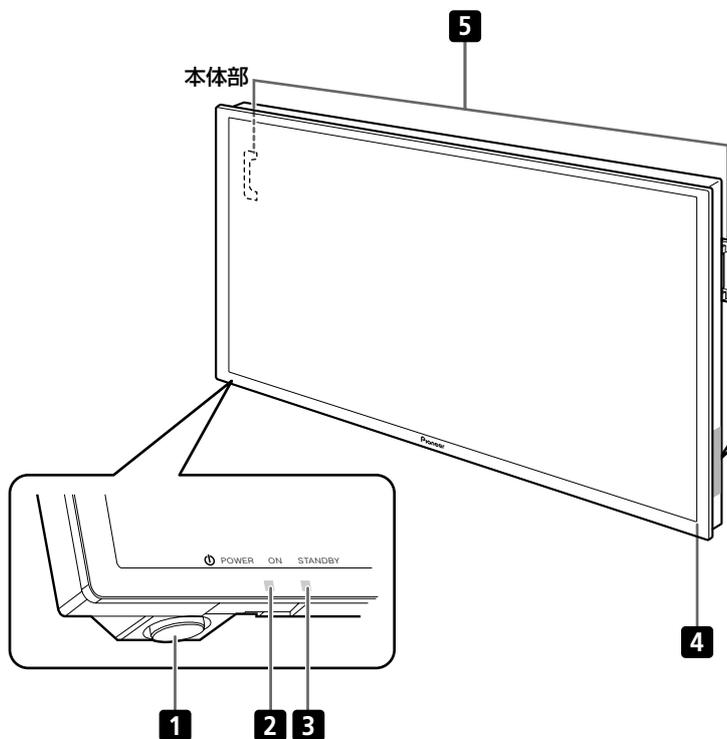
⑧ BNC変換アダプター×3

⑨ 保証書

梱包箱に貼り付けられています。大切に保管してください。

- 取扱説明書（本書）
- 安心サービス保証プログラムのご案内
- ユーザー登録用紙　兼　安心サービスプログラム申込書
- ご相談窓口・修理窓口のご案内

ディスプレイ

本体

ご注意

- 接続したスピーカーを本体に近付けて設置すると、本体の操作パネルが操作できなくなります。

本体部

1 主電源ボタン
本機の主電源の入／切をします。

2 ON ランプ
本機が動作状態のとき、青色で点灯します。(☞27ページ)
また、点滅によって本機の異常をお知らせすることもあります。(☞53 ページ)
パワーマネージメント機能が働いているときは青色が1秒おきに点滅します。(☞45 ページ)

3 STANDBY ランプ
本機がスタンバイ状態のとき赤色で点灯します。(☞27 ページ)
また、点滅によって本機の異常をお知らせすることもあります。(☞53 ページ)

4 リモコン受光部
リモコンをここに向けて操作してください。
(☞17 ページ)

5 取っ手
「背面の「取っ手」について」(☞6ページ) をご覧ください。

本体操作パネル

6 ⏻ STANDBY/ON ボタン
電源の入／切(スタンバイ)をします。(☞27 ページ)

7 INPUT ボタン
入力を切り換えるときに使います。(☞27 ページ)

8 HOME MENU(ホームメニュー)ボタン
メニュー画面を表示します。(☞25 ～ 52 ページ)

9 ADJUST(↑/↓/→/←)ボタン
メニュー画面内でカーソルを動かしたり、各項目の調整に使います。使い方は画面上に表示されます。(☞25～52 ページ)

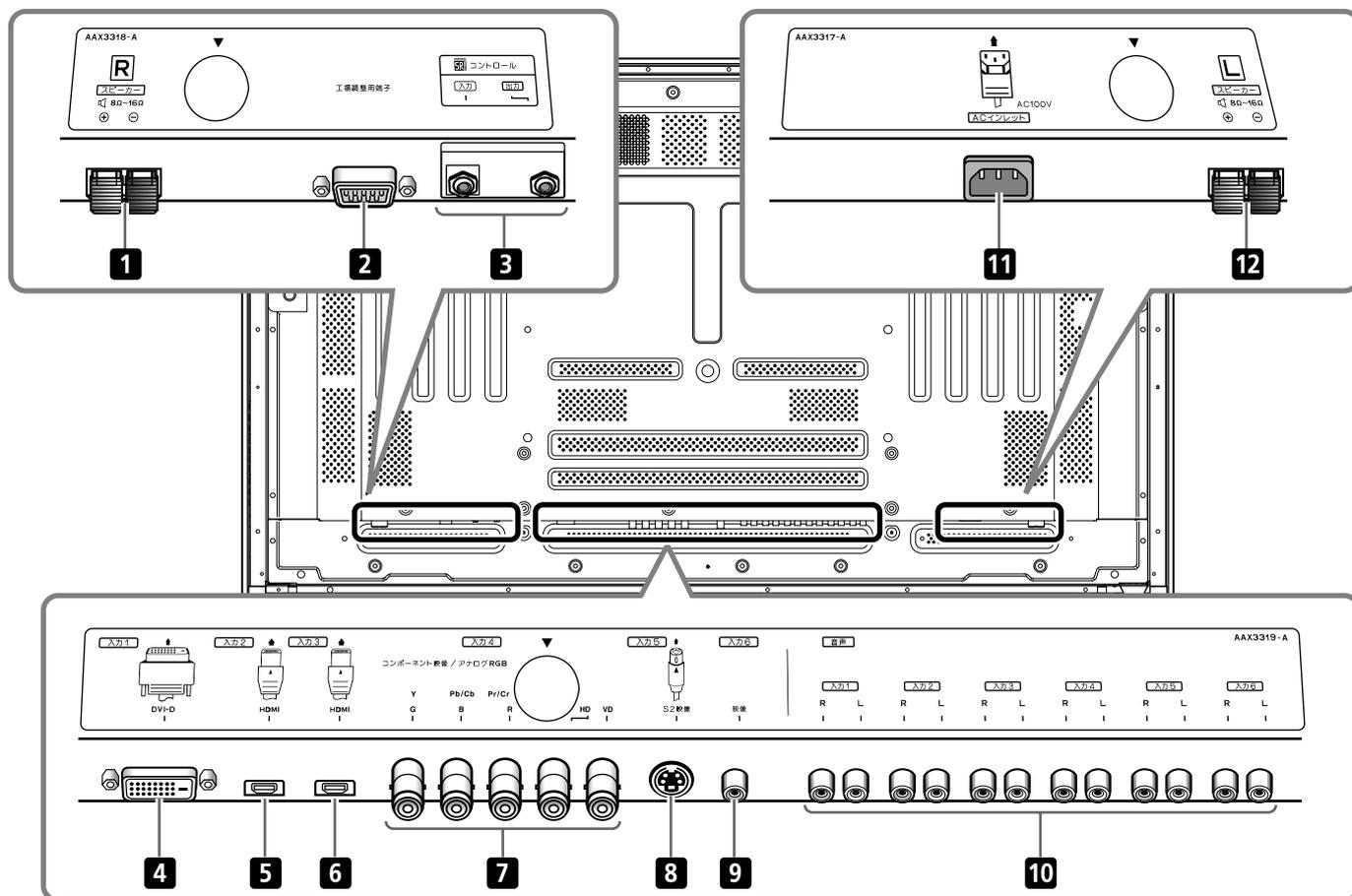
10 VOLUME(+/ －)ボタン
メニュー画面表示中のとき以外に、音量の調整に使います。(☞27 ページ)

11 ENTER ／ DISP. ボタン
メニュー画面で調整項目の決定、各種設定の変更に使います。(☞25 ～ 52 ページ)
また、メニュー画面表示中のとき以外は、現在の状態を見るときに使います。(☞28 ページ)

12 RETURN ボタン
1 つ前の画面に戻ります。

13 SCREEN SIZE ボタン
画面サイズを切り換えるときに使います。(☞29 ページ)

接続パネル

それぞれの接続方法は、(　)内のページをご覧ください。

1　スピーカー（R）接続端子
右側用外部スピーカー出力端子です。インピーダンスが8Ω〜16Ωのスピーカーを接続します。(☞23ページ)

2　工場調整用端子
何も接続しないでください。

3　コントロール（IN／OUT）端子
SRマークの付いた当社製AVアンプなどを接続します。(☞21ページ)

4　入力1(DVI-D端子)
パソコン（PC）などの機器と接続します。
DVI-D端子を持つAV機器（HDCP対応）を接続できます。(☞22ページ)

5　入力2（HDMI端子）
HDMI（High-Definition Multimedia Interface）対応DVDプレーヤーなどのHDMI端子と接続します。(☞19ページ)

6　入力3（HDMI端子）
HDMI（High-Definition Multimedia Interface）対応DVDプレーヤーなどのHDMI端子と接続します。(☞19ページ)

7　入力4（BNC端子）
パソコンなどのRGB出力、またはDVDレコーダーなどのコンポーネント映像出力を持つ機器を接続します。接続した機器の信号出力方式と接続方法が正しく行われているか確認してください。(☞18、22ページ)

8　入力5（S2映像端子）
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDレコーダーなどの、S映像出力を持つ機器を接続します。(☞18ページ)

9　入力6（RCAピンジャック）
ゲーム機やビデオカメラなどの出力端子と接続します。(☞18ページ)

10 音声入力１～入力６端子（RCA ピンジャック）

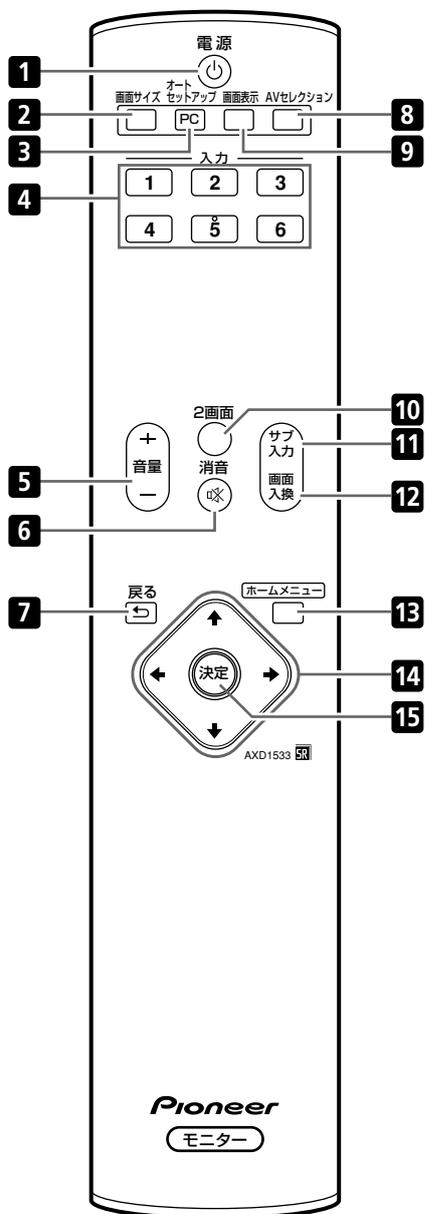
入力１～入力６それぞれの映像に対応した音声入力です。本機の入力１～入力６に接続した機器の音声出力端子と接続します。（☞18～22ページ）

11 AC インレット端子

付属の電源コードを使用して、AC 電源に接続します。（☞23ページ）

12 スピーカー（L）接続端子

左側用外部スピーカー出力端子です。インピーダンスが8Ω～16Ωのスピーカーを接続します。（☞23ページ）

リモコン

リモコンの取り扱いについて

- リモコンは落としたり濡らしたりしないでください。
- 直射日光または暖房の放射熱の当たるところ、湿気の多いところでは使用しないでください。
- 電池が消耗すると、動作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。

1 電源ボタン

電源の入／切（スタンバイ）をします。（☞27 ページ）

2 画面サイズボタン

画面サイズを切り換えるときに使います。（☞29 ページ）

3 PC オートセットアップボタン

パソコン（PC）入力時、「画面位置の調整」、「クロック周波数」、「クロック位相」を自動で適性な値に設定します。この機能は入力４でのみ有効です。（☞34 ページ）

4 入力１～入力６ボタン

入力を切り換えるときに使います。（☞27 ページ）

5 音量＋ / －ボタン

音量を調整します。（☞27 ページ）

6 消音ボタン

音を一時的に消したいときに使います。（☞28 ページ）

7 戻るボタン

１つ前の画面に戻ります。

8 AV セレクションボタン

AV セレクションを切り換えます。（☞35 ページ）

9 画面表示ボタン

現在選択している入力、入力信号の種類などを確認したいときに使います。（☞28 ページ）

10 ２画面ボタン

２画面にしたいときに使います。（☞36 ページ）

11 サブ入力ボタン

２画面表示時に、サブ画面の入力を切り換えるときに使います。（☞36 ページ）

12 画面入換ボタン

マルチ画面にしたときにメイン画面とサブ画面の切り換えに使います。（☞36 ページ）

13 ホームメニューボタン

メニュー画面を表示します。（☞25 ～ 52 ページ）

14 調整(↑/↓/→/←)ボタン

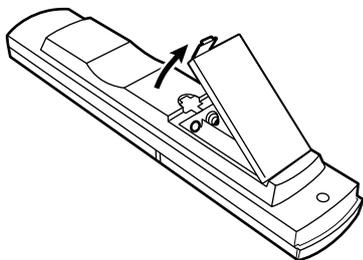
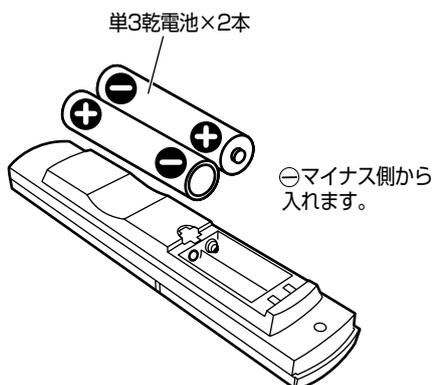
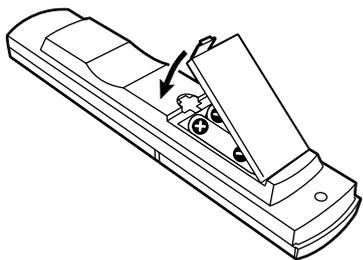
メニュー画面内でカーソルを動かしたり、各項目の調整に使います。（☞25 ～ 52 ページ）

15 決定ボタン

メニュー画面で調整項目の決定、各種設定の変更に使います。（☞25 ～ 52 ページ）

リモコンに電池を入れる

電池を入れてリモコンの準備をします。

1 裏ブタを押しながら矢印の方向へ開く

2 ケース内に表記されている極性 ⊕(プラス) / ⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れる

3 フタを矢印の方向に閉める

⚠警告

電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内、ストーブの前などの高温の場所で使用、放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

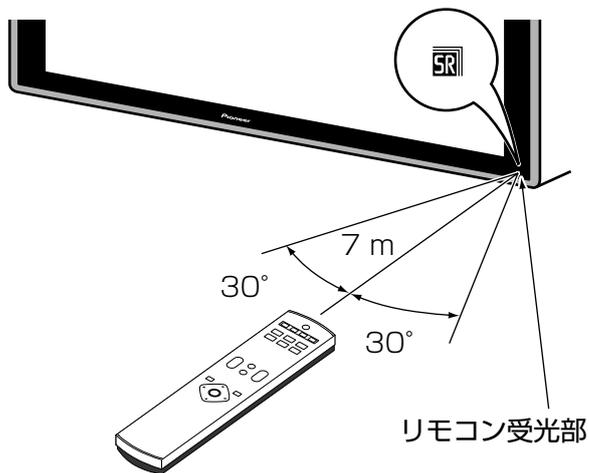
ご注意

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池および種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。
- 電池は単3型マンガン乾電池(SUM-3, R6)または単3型アルカリ乾電池(AM-3, LR6)をご使用ください。

お知らせ

- 付属の乾電池は保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間リモコンを使わないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 新しい乾電池に交換してもリモコンが動作しないときは、電池の向きを確かめて、入れ直してください。

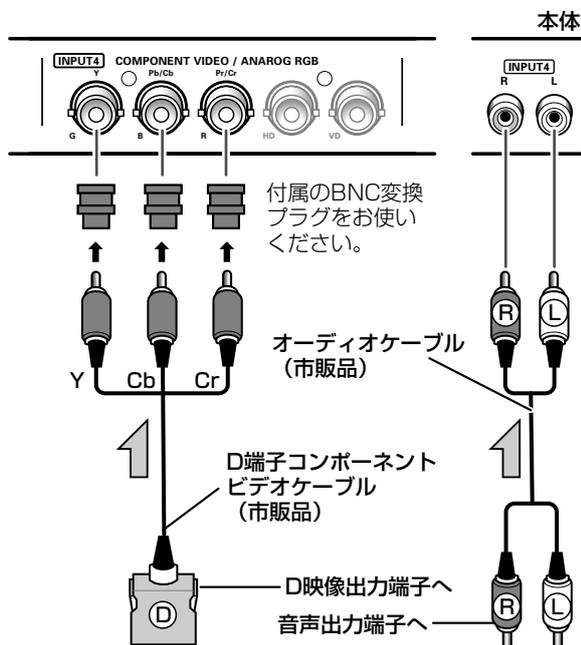
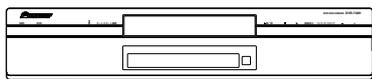
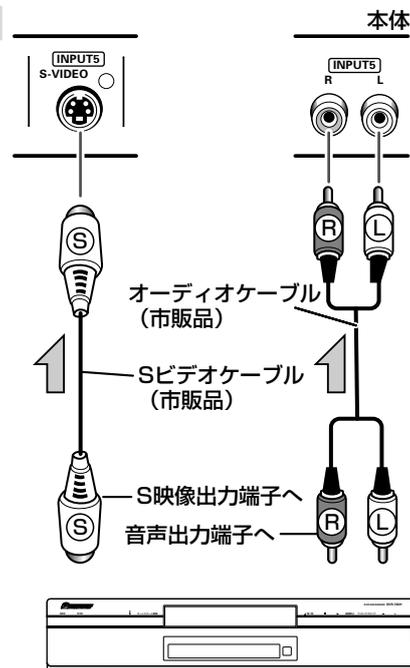
リモコンで操作できる範囲

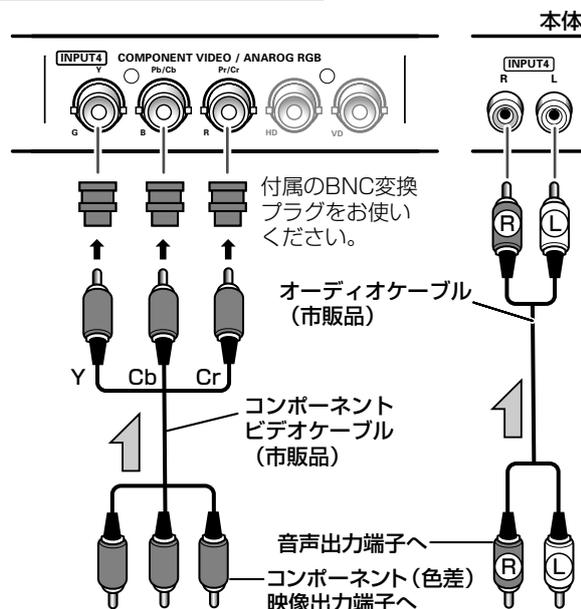
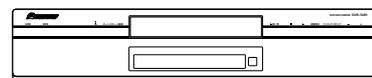
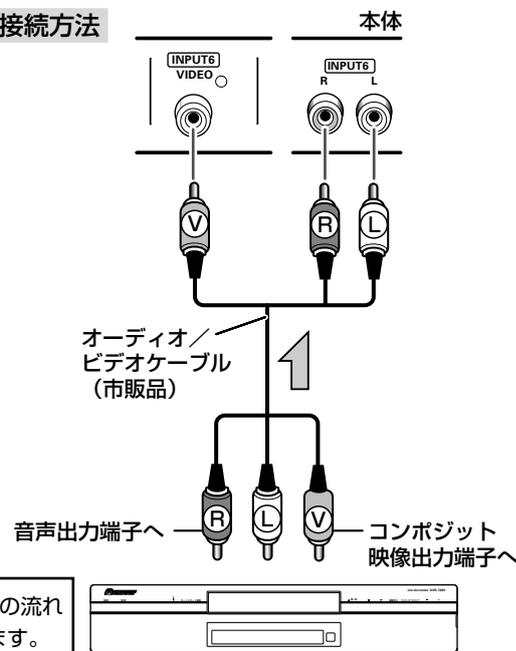
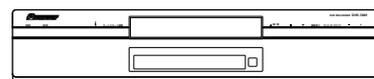
リモコンは、ディスプレイ前面右下のリモコン受光部(SR)に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から7 m、左右に30度以内です。

お知らせ

- リモコンとディスプレイの受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい電池に交換してください。
- 本機は画面から微弱な赤外線を放出しています。近くにビデオなどの赤外線リモコンを使って操作する機器を設置すると、その機器がリモコン操作を受けつけにくくなったり、受けつけなくなることがあります。そのような場合は、本機から離して設置してください。画面から放出される赤外線の強さは、表示している絵柄によって変わります。
- 設置環境によっては、画面から放出される赤外線の影響で、本機がリモコンの操作を受けつけにくくなったり、リモコンで操作できる距離が短くなることがあります。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。照明の向きを変えてください。

デジタルチューナーなどをつなぐ

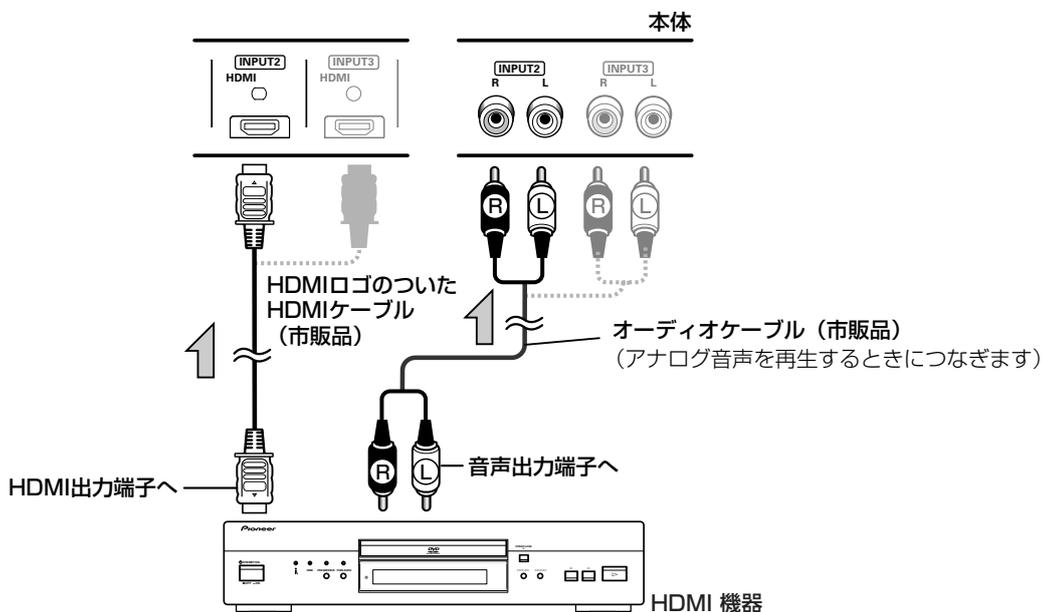
デジタルチューナーやDVDプレーヤーなどをつなぎます。

入力４との接続方法・パターン１

入力５との接続方法

入力４との接続方法・パターン２

入力６との接続方法

お知らせ

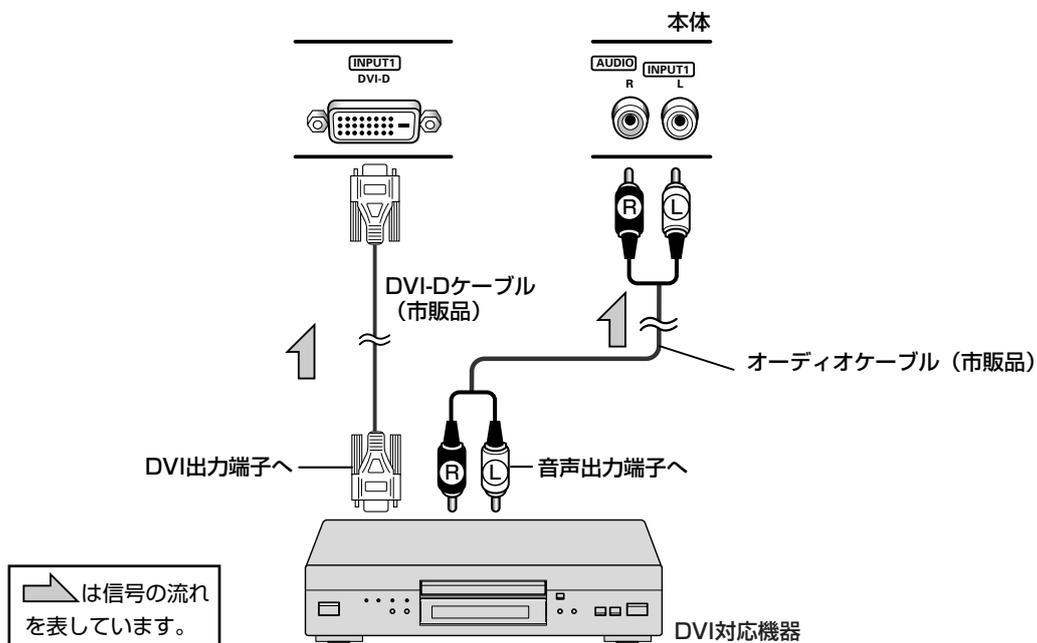
- HDMIケーブルで接続するときは、「HDMI機器をつなぐ」(☞19ページ)をご覧ください。
- 接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

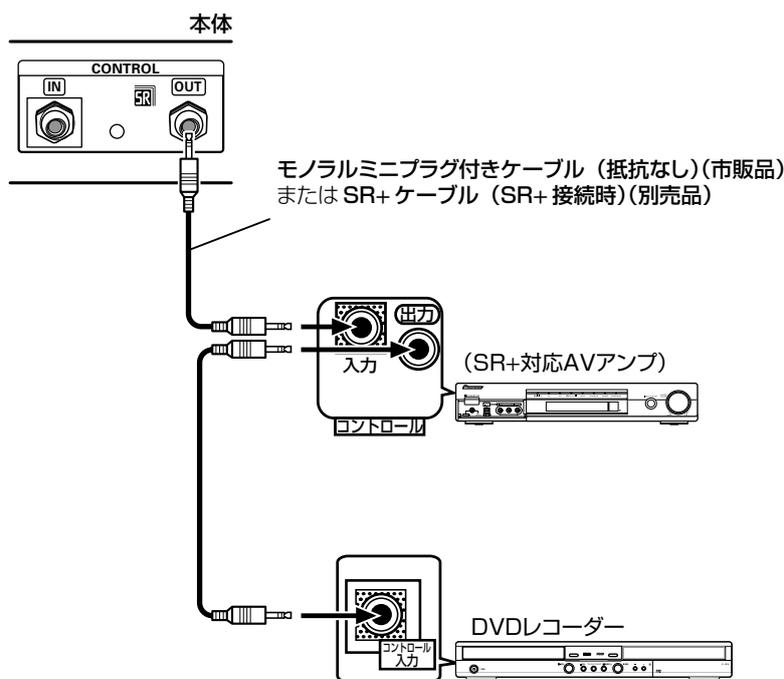
HDMI 機器をつなぐ

HDMI対応のDVDプレーヤーなどを接続します。
接続後は、HDMI接続の設定をしてください（☞48ページ）。
なお、本機はHDMI入力端子を2系統搭載しています。

お知らせ

- HDMIは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、デジタル映像・音声信号を伝送します。1本のHDMIケーブルをつなぐだけで、高品質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。
- 接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

DVI 機器をつなぐ

DVI端子を持つDVI対応機器を接続します。
接続後は、DVI接続の設定をしてください（☞50ページ）。

コントロール接続について

SRマークの付いた当社製の機器を接続すると、他の機器のリモコン信号を本機のリモコン受光部で受信できるようになります。
接続後は、コントロール接続の設定をしてください（☞51ページ）。
コントロール接続をした機器のリモコンは、本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- コントロール接続をする前に、ほかの機器の接続をすべて済ませてください。

SR+ について

- 本機は、SR+端子を装備した当社製AVアンプとの連動動作を可能にするSR+に対応しています。SR+には、システム連動動作機能やサラウンドモードの画面表示機能などがあります。詳しくは、お使いのSR+対応機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- SR+接続をするときは、専用のSR+ケーブルをご使用ください。SR+ケーブル（パイオニア部品番号：ADE7095）をお求めになるときは、パイオニア部品受注センター（裏表紙）までご相談ください。
- 接続例のように、間に他の機器を挟まないで本機とAVアンプを直接接続してください。
- SR+接続による連動動作が始まると、本機の音量が一時的に最小になることがあります。本機のスピーカーから音を出したいときは本機の音量を調整してください。

パソコン（PC）をつなぐ

接続後は、パソコン接続の設定をしてください（☞52ページ）。

本機で表示可能なパソコン信号一覧

パソコンを接続する前に、パソコン側で画面の解像度を設定してください。

解像度	垂直周波数
720 × 400	70 Hz
640 × 480（VGA）	60 Hz
	72 Hz
	75 Hz
800 × 600（SVGA）	60 Hz
	72 Hz
	75 Hz
1024 × 768（XGA）	60 Hz
	70 Hz
	75 Hz
1280 × 720	60 Hz
1280 × 768（ワイドXGA）	60 Hz
1280 × 1024（SXGA）	60 Hz
	75 Hz*
1920 × 1080	60 Hz*

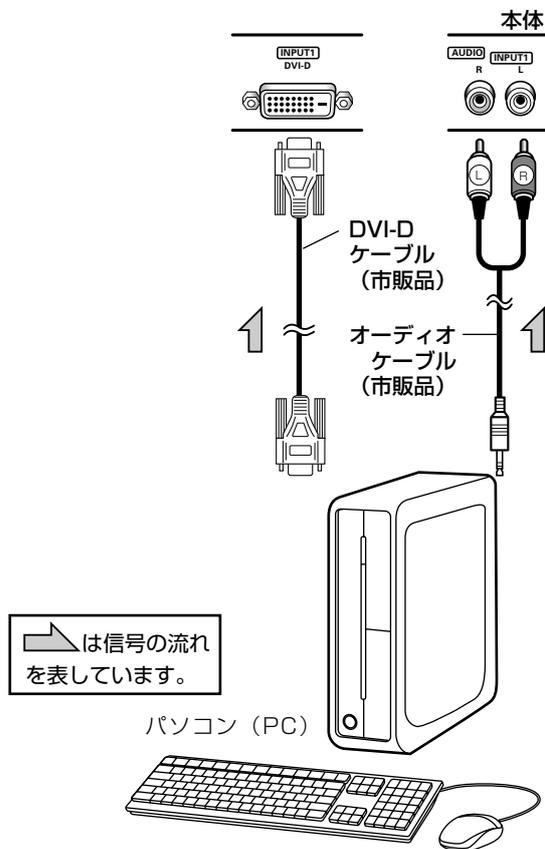
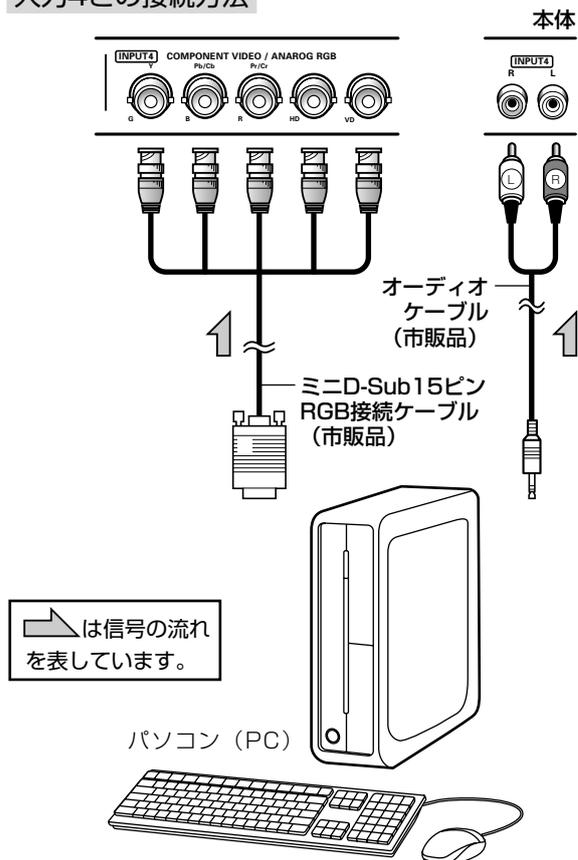
* 入力 1 のみ対応します。

お知らせ

- パソコン側のモニター出力や解像度の設定(例:画面のプロパティ)が必要な場合があります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

入力1との接続方法

入力4との接続方法

接続して使う

電源コードを接続する／ケーブルを束ねる

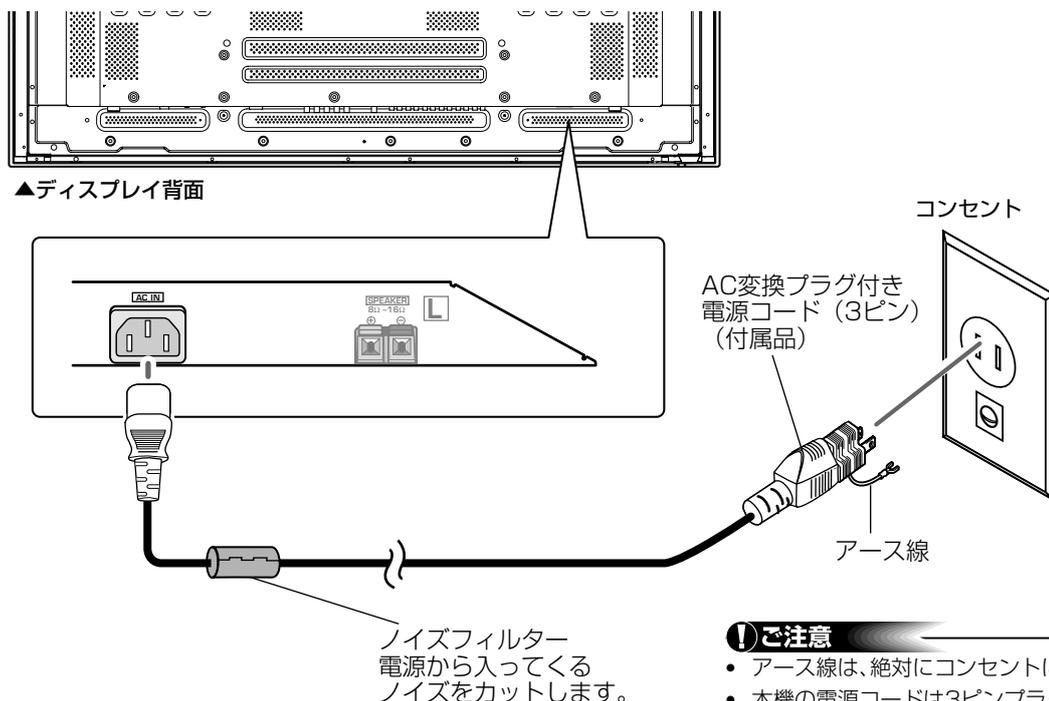
ご注意

- ディスプレイの取り付けや取り外しは専門業者にご依頼ください。
- ディスプレイを設置するには、別売のスタンドが必要です。スタンドの取り付け方法については、スタンドの取扱説明書をご覧ください。

電源コードを接続する

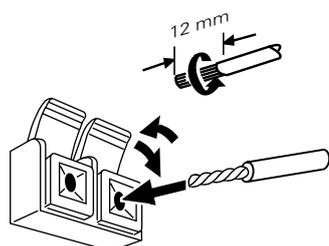
ご注意

電源コードは最後に（他のケーブルの接続が終わってから）接続してください。

- すべての接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

ご注意

- アース線は、絶対にコンセントに挿入しないでください。
- 本機の電源コードは3ピンプラグになっています。性能維持のため、必ずアース線を接続してください。
- アース端子のある2芯コンセントのときは、AC変換プラグを付けたままお使いください。コンセントが3芯のときは、AC変換プラグを外してお使いください。
- コンセントが2芯専用でアース端子がない場合は、アース工事が必要ですので、専門業者に工事を依頼してください。

スピーカーと接続する

本機にはスピーカー出力端子を備えています。お手持ちのスピーカーを使用するには、下図を参照して接続を行ってください。

むき出しにしたケーブルをねじります。

タブを押し上げ、ケーブルを差し込みます。

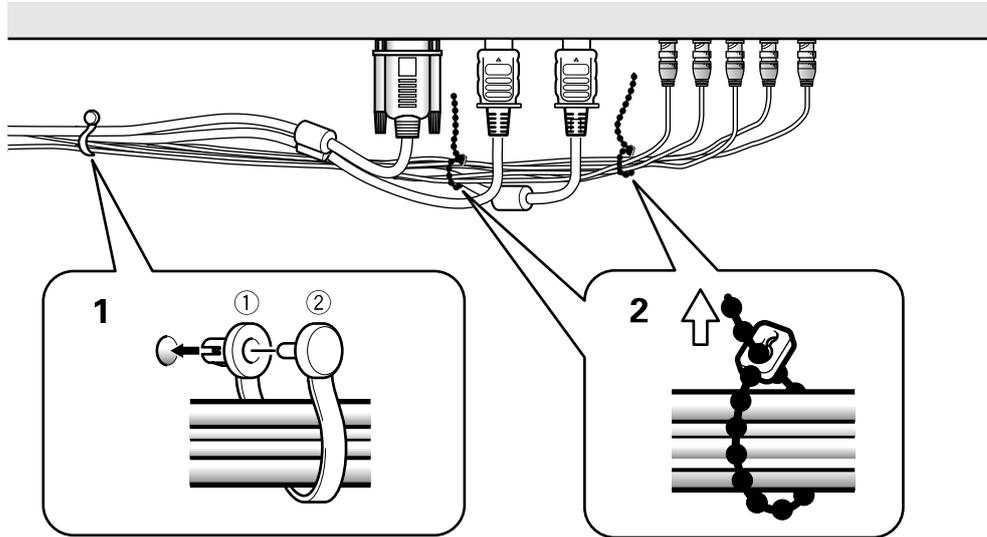
タブを押し下げ、ケーブルが抜けないようにします。

ご注意

- スピーカーを接続するときは、スピーカー側の端子と本機のスピーカー端子のプラス（+）とマイナス（−）を合わせてください。プラス（+）とマイナス（−）が合っていないと適性な音として聞こえません。
- 本機には、インピーダンス8 Ω〜16 Ωのスピーカーが接続できます。

ケーブルを束ねる

本機には、ケーブルをまとめるためのスピードクランプ、ビーズバンドが付属しています。
すべての接続が終わったら、以下の手順でケーブルをまとめます。

＊本体を背面から見た図

1　スピードクランプを使ってケーブルを留める

① をリアケースの穴へ差し込んだあと、② を差し込みます。

スピードクランプは、一度留めると外しにくいため注意して取り付けてください。

2　付属のビーズバンドでケーブルを束ねる

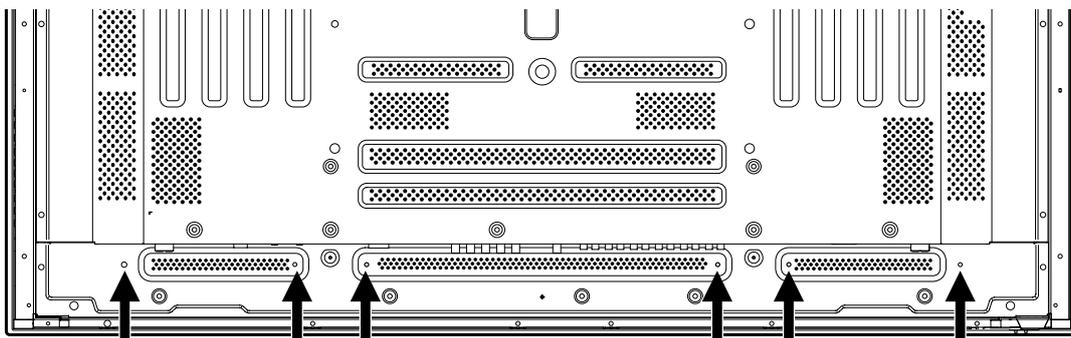
ケーブルの根元にストレスをかけすぎないようにご注意ください。

お知らせ

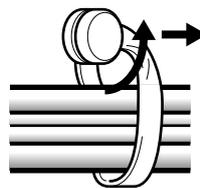
束ねたケーブルは左右どちらにもまとめられます。

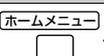
スピードクランプを本機に取り付けるには

○印の６つの穴を状況に応じて使ってください。

＊本体を背面から見た図

スピードクランプを外すには

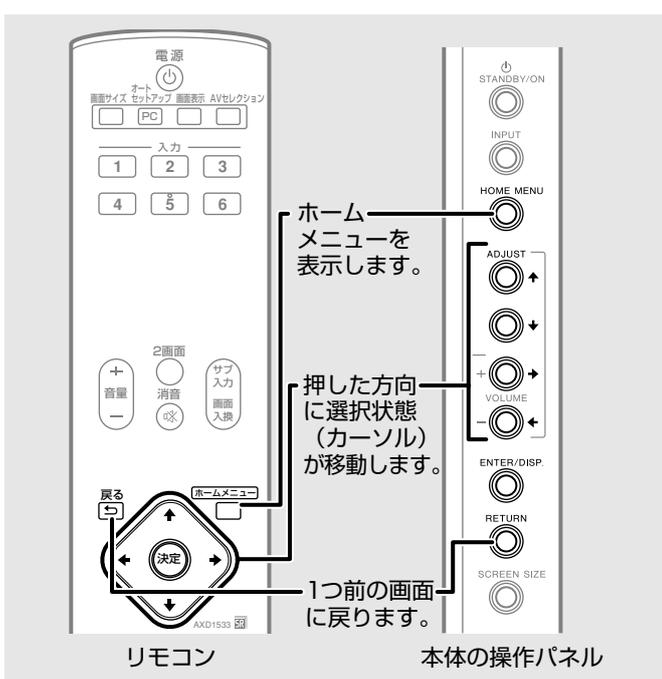
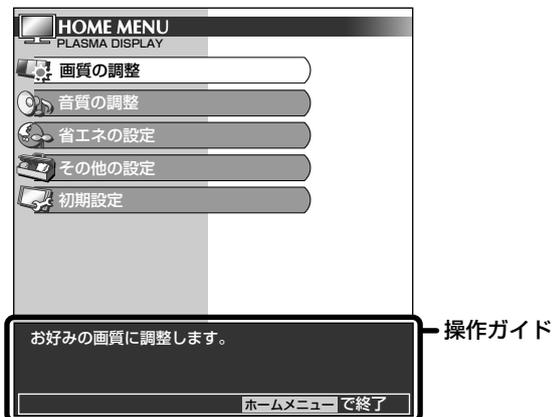
ペンチでクランプを90度ねじり、外側へ引きます。
くり返しによって傷んでくると外すときに破損することがあります。

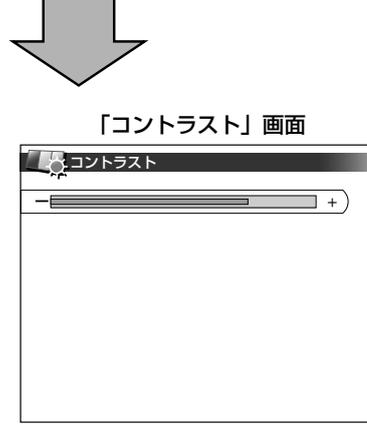
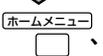
操　作　ホームメニューとは

リモコンの［ホームメニュー］、または本体の HOME MENU を押すと「ホームメニュー」が表示されます。ホームメニューでは、画面上でいろいろな設定ができます。ここではホームメニューの基本的な使い方を説明します。

ホームメニューを使うには

リモコンの［ホームメニュー］、または本体の HOME MENU を押すと、ホームメニュー画面が表示されます。
画質を細かく調整したいときなどにホームメニューを使います。

お知らせ

- 本書に記載しているイラストや画面は、イメージであり説明用のものです。実際とは異なる場合があります。
- メニュー画面で灰色表示されている機能や項目は、選択や設定ができません。
- ホームメニューでは、選択しているメニュー項目の説明や操作方法などのガイドが表示されることがあります。操作の参考にしてください。

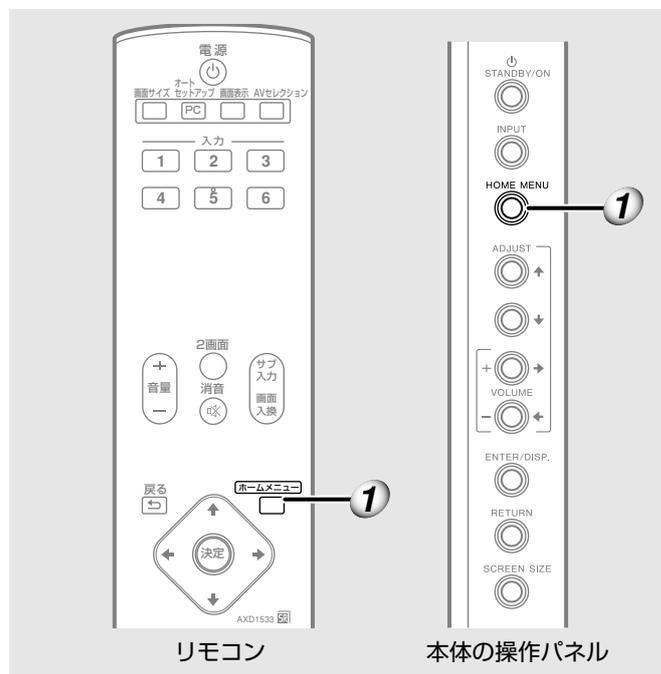
リモコン　　本体の操作パネル

- 設定したい項目を選んでリモコンの（決定）または本体の ENTER/DISP. を押すと、次のメニュー画面または設定画面が表示されます。
- 設定画面によっては、リモコン、本体の◆◆で選ぶことがあります。

例

次頁へつづく

1つ前の画面や1つ前の手順に戻るには

1 リモコンの戻る、また本体のRETURNを押す

ホームメニューを終了するには

リモコン　本体の操作パネル

1 リモコンのホームメニュー、または本体のHOME MENUを押す

ホームメニューが消えて元の画面に戻ります。

お知らせ

- リモコンの 入力 1～6、本体のINPUTを押しても、元の画面に戻ります。

電源を入れる／入力ソースを選ぶ

ここでは本機の基本的な操作方法を説明します。電源の入／切、動作状態とスタンバイ状態の切り換え、接続した機器の入力選択について記しています。

1 本機下の主電源ボタンを押して、本機の電源を入れる

本機前面のSTANDBY ランプが赤に点灯します。

2 リモコンの電源(⏻)、または本体のSTANDBY/ON(◎)を押して、本機を動作状態にする

本機前面のON ランプが青に点灯します。

3 リモコンの入力[1]〜[6]、または本体のINPUT(◎)を押して、入力を選ぶ

4 使い終わったらリモコンの電源(⏻)、または本体のSTANDBY/ON(◎)を押して、スタンバイ状態にする

5 本機の主電源ボタンを押して、主電源を切る

主電源を切ってもSTANDBYランプが点灯していることがありますが、これは回路に充電された電荷が若干残っているためで、しばらくすれば消えます。

ご注意

- 同じ映像を長い間表示すると、「焼き付き」という現象の原因となります。

音量を調整する

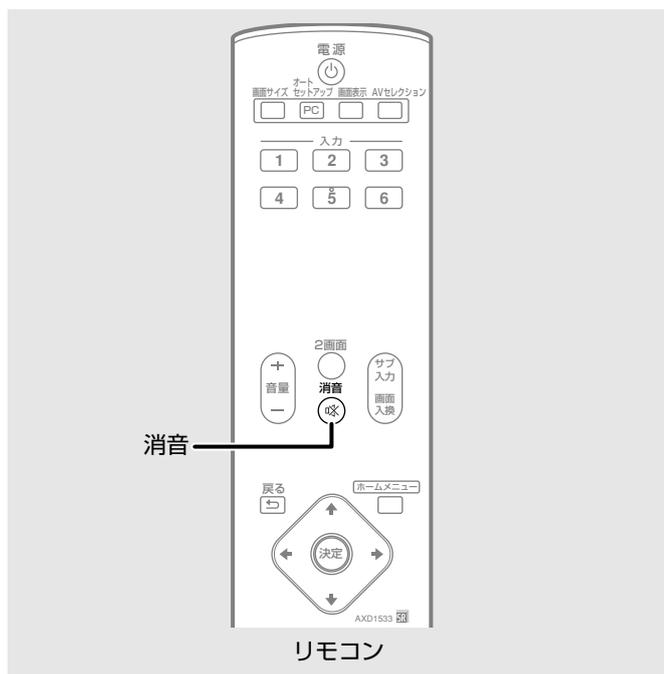
本機にスピーカーを接続し、音量を入力しているときには、音量を調節できます。

リモコンの音量(＋/－)、または本体のVOLUME(＋/－)を押す

[－](音量小)ボタンまたは[＋](音量大)ボタンを押して、スピーカーから出る音量を調整します。

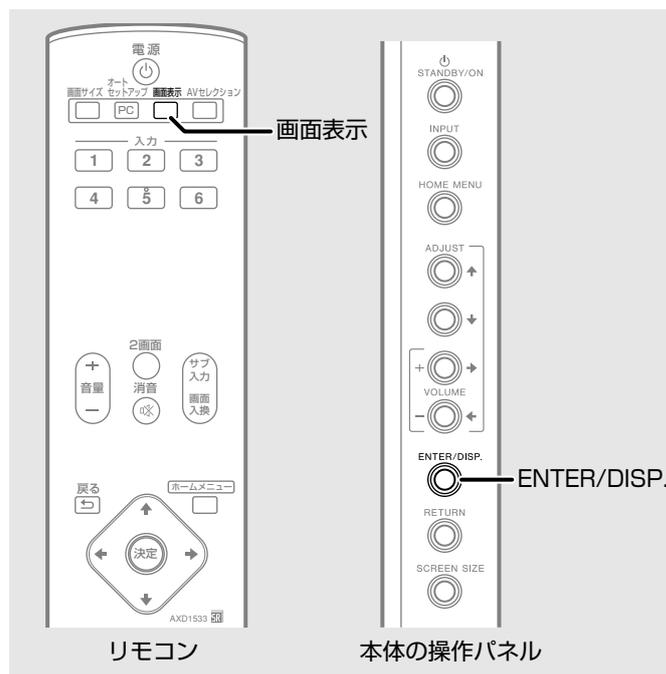
音量調整

次頁へつづく

一時的に音を消す

リモコンの消音を押す

もう一度消音を押すと音が出ます。

消音

現在の状態を確認する

リモコンの画面表示、また本体のENTER/DISP.を押す

現在選択されている入力、AVセレクション、画面サイズ、入力信号に関する情報が約3秒間表示されます。

ビデオ信号入力時

入力信号の走査線数および走査方式（入力1～入力4）、またはカラーシステム（入力5と入力6）が表示されます。

表示例：

パソコン信号入力時

入力信号の画素数と周波数が表示されます。

表示例：

ご注意

- 周波数表示は実際と異なることがあります。
- 無信号時は、AVセレクション名と画面サイズ名のみ表示されます。
- 2画面表示時は、AVセレクション名、画面サイズ名は表示されません。

画面サイズを切り換える

放送や映像の内容によってお好みの画面サイズに切り換えます。

お知らせ

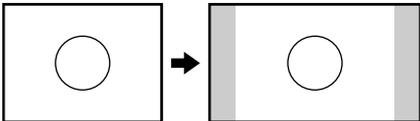
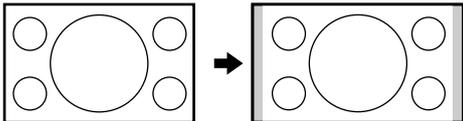
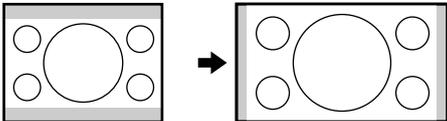
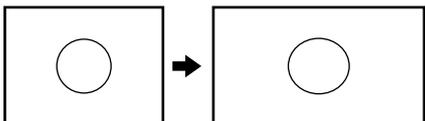
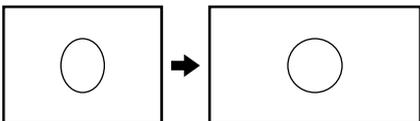
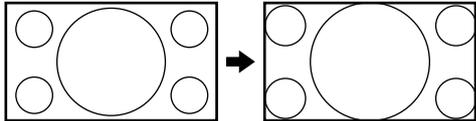
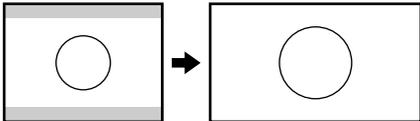
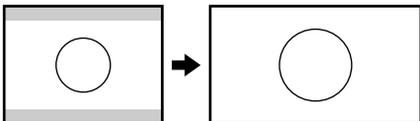
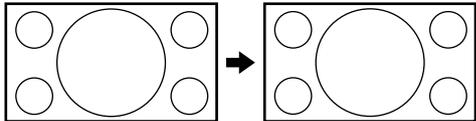
- 入力信号（解像度や垂直周波数）によって、選べる画面サイズは変わります。

画面サイズを選ぶ
（ビデオ入力時）

ご注意

- **画面サイズ4:3、フル14:9、シネマ14:9や上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日繰り返し表示すると焼き付きによる残像が残ります。著作権者の権利を侵害する恐れがある場合を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映す画面サイズに切り換えてお楽しみいただくことをお勧めします。**
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、画面サイズ切り換え機能などを使って、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

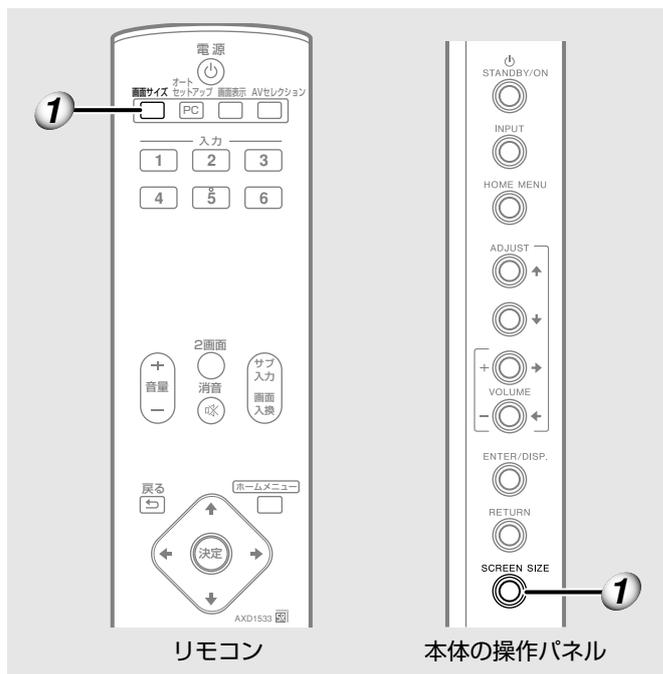
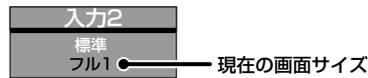
画面サイズの種類

4：3	横縦比４：３映像をそのまま表示します。
フル 14：9	縦横比 14：９映像を、そのまま表示します。
シネマ 14：9	レターボックス付き 14：９映像を、そのままの縦横比で大きく表示するのに適しています。
ワイド	横縦比４：３映像を、違和感を抑えて画面いっぱいに表示します。
フル 1* ＊入力信号によっては、フルと表示されます。	16：９から４：３に圧縮（スクイーズ）された映像を、元の 16：９に戻して画面いっぱいに表示します。

フル２	フル１で表示すると画面上部に黒帯が見えるとき、画面いっぱいに表示します。
ズーム	シネマスコープサイズまたは 16：９サイズの映像を画面いっぱいに表示します。
シネマ	ビスタサイズの映像を画面いっぱいに表示します。
DOT BY DOT	入力信号と画面のドット×ラインを１：１に対応させて、忠実に表示します。入力ソースのサイズが 1920 x 1080 のときのみ表示できます。

お知らせ

- 入力された映像信号に画面サイズの情報があるときは、その情報に合わせて画面サイズが自動的に最適なサイズに切り換わります。
(☞31ページ)

リモコン　　本体の操作パネル

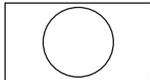
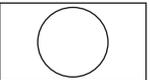
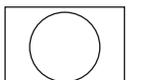
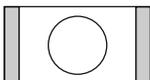
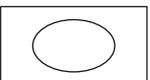
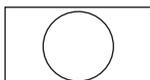
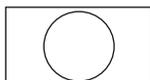
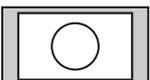
次頁へつづく

1 リモコンの 画面サイズ 、または本体の SCREEN SIZE を押して、お好みの画面サイズを選ぶ

押すたびに、画面サイズが切り換わります。

ハイビジョン映像（1125i）のときは

- 「フル１」や「フル２」で表示した場合、画面左右に黒帯などの無画部が見えるときは、「ワイド」を選んでください。
- 「ワイド」を選ぶと、映像の一部が欠けることがあります。この場合、「フル１」または「フル２」にすることをお勧めします。

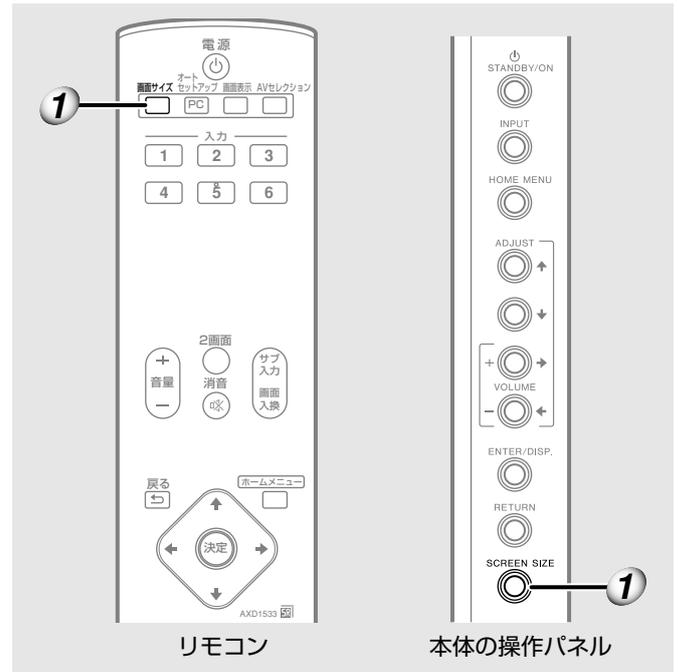
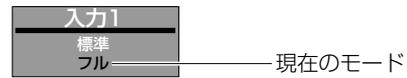
画面サイズを選ぶ
（パソコン（PC）入力時）

ご注意

- 静止画像、または画面サイズ4:3やDOT BY DOT、上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日繰り返し表示すると焼き付きによる残像が残ります。著作権者の権利を侵害する恐れがある場合を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映してお楽しみになることをお勧めします。

入力信号	フル
720 × 400 1920 × 1080	１６：９画面いっぱいに映します。

入力信号	４：３	フル
640 × 480 800 × 600	入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	１６：９画面いっぱいに映します。

入力信号	フル	DOT BY DOT
1280 × 720 1280 × 768	１６：９画面いっぱいに映します。	入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。

入力信号	４：３	フル	DOT BY DOT
1024 × 768 (XGA) 1280 × 1024 (SXGA)	入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	１６：９画面いっぱいに映します。	入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。

リモコン　本体の操作パネル

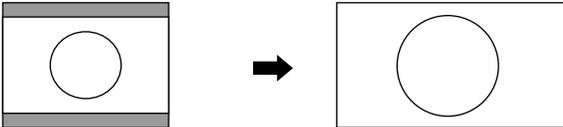
1 リモコンの 画面サイズ 、または本体の SCREEN SIZE を押して、お好みの画面サイズを選ぶ

押すたびに、画面サイズが切り換わります。

画面サイズを自動的に切り換える
（入力2、入力3、入力5）

本機には、放送や入力の映像信号に含まれる画面サイズ制御信号に合わせて、画面サイズを自動的に最適なサイズに切り換える機能があります。

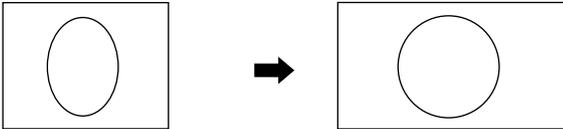
お知らせ

- 「しない」を選ぶと、自動的に画面サイズが切り換わらなくなります。リモコンの[画面サイズ]、または本体の[SCREEN SIZE]を押して、お好みの画面サイズを選びます。
- 入力5を使用時には、入力信号によっては自動切換ができない場合があります。

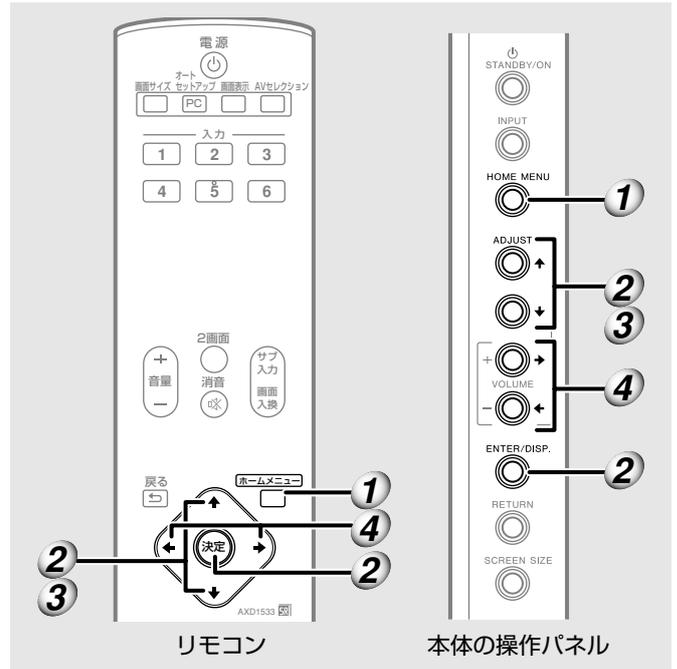
オリジナルの映像がレターボックスのときは

- ４：３の画面の中に１６：９の映像が含まれるとき（レターボックス）は、自動的に「ズーム」で表示されます。

レターボックス制御信号の入った映像　　ズームで表示

オリジナルの映像が１６：９のときは

- オリジナルの映像が１６：９のとき（フルモード）は、自動的に「フル」で表示されます。

フルモード制御信号の入った映像　　フルで表示

リモコン　　本体の操作パネル

1 リモコンの[ホームメニュー]、または本体の[HOME MENU]を押す

2 [その他の設定]を選んで、リモコンの[決定]、または本体の[ENTER/DISP.]を押す

3 ↑ ↓で[画面サイズ自動切換]を選ぶ

4 ← →で[する]または[しない]を選ぶ

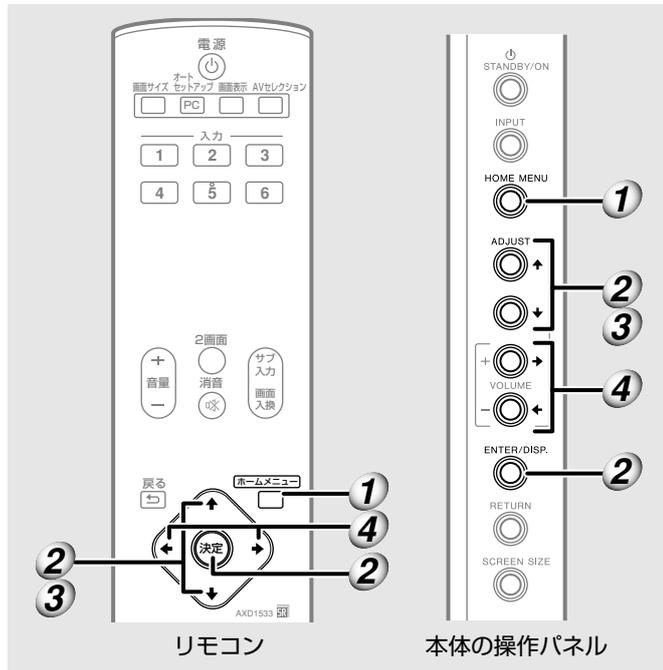
お知らせ

- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・リモコンの[ホームメニュー]、入力[1]～[6]
  - ・本体の[HOME MENU]、[INPUT]

次頁へつづく

4：3映像の表示サイズを設定する [4：3信号の表示]

4：3映像を自動切換で画面に表示するときに、どのように表示するかを設定できます。(画面サイズ☞29ページ)

リモコン　　本体の操作パネル

1 リモコンの ホームメニュー 、または本体の HOME MENU を押す

2 その他の設定 を選んで、リモコンの 決定 、または本体の ENTER/DISP. を押す

3 ↑ ↓で 4:3信号の表示 を選ぶ

その他の設定	
画面位置の調整	
画面サイズ自動切換	する
4：3信号の表示	4：3

4 ← →で ワイド または 4：3 を選ぶ

お知らせ

- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・ リモコンの ホームメニュー 、入力 1 〜 6
  - ・ 本体の HOME MENU 、 INPUT

画面の位置を調整する

画面の位置を調整する（ビデオ入力時）

画面に表示される映像の位置を調整できます。

リモコン　本体の操作パネル

1. リモコンの［ホームメニュー］、または本体の［HOME MENU］を押す
2. ［その他の設定］を選んで、リモコンの［決定］、または本体の［ENTER/DISP.］を押す
3. ［画面位置の調整］を選んで、リモコンの［決定］、または本体の［ENTER/DISP.］を押す

その他の設定	
画面位置の調整	
画面サイズ自動切換	する
4：3信号の表示	4：3

4. ［水平・垂直位置］を選んで、リモコンの［決定］、または本体の［ENTER/DISP.］を押す

5. ↑↓←→で、上下左右の位置を調整する

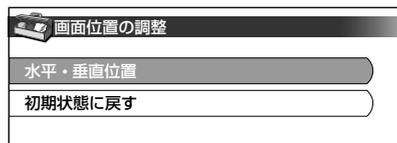
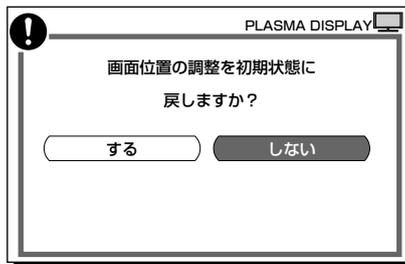
お知らせ

- 画面位置を調整すると、映像の一部が欠けることがあります。その場合は、最適な位置に調整し直してください。
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・リモコンの［ホームメニュー］、入力［1］～［6］
  - ・本体の［HOME MENU］、［INPUT］

画面位置の調整を元に戻すには

画面位置をお買い上げ時の状態に戻します。

1. リモコンの［ホームメニュー］、または本体の［HOME MENU］を押す
2. ［その他の設定］を選んで、リモコンの［決定］、または本体の［ENTER/DISP.］を押す
3. ［画面位置の調整］を選んで、リモコンの［決定］、または本体の［ENTER/DISP.］を押す

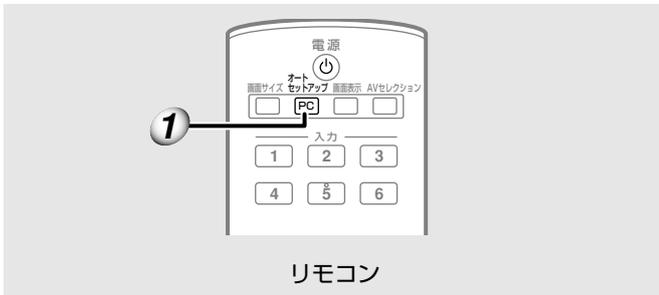
4. ［初期状態に戻す］を選んで、リモコンの［決定］、または本体の［ENTER/DISP.］を押す

5. ［する］を選んで、リモコンの［決定］、または本体の［ENTER/DISP.］を押す

お知らせ

- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・リモコンの［ホームメニュー］、入力［1］～［6］
  - ・本体の［HOME MENU］、［INPUT］

画面の位置を調整する
（入力4（PC）入力時）

最適な表示になるように、パソコン画面を調整できます。「自動調整」と「手動調整」の2つがあります。

お知らせ
- スクリーンセーバーや動画など動きのある映像や、画面全体が単色になっているときには、「自動調整」では最適な画面が表示されないことがあります。その場合は、「手動調整」を行ってください。
- 接続しているパソコンによっては、「自動調整」では最適な画面が表示されないことがあります。その場合も、「手動調整」を行ってください。

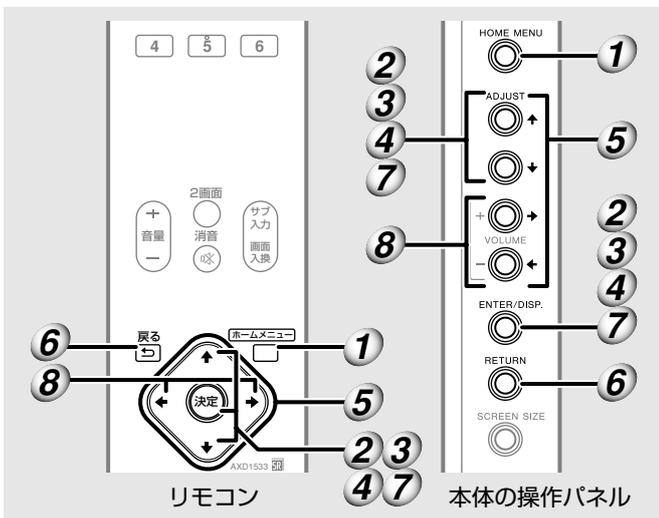
自動で調整する

リモコン

1 リモコンの オートセットアップ［PC］を押す

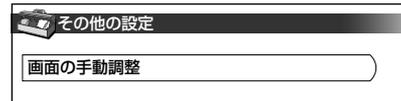
画面の自動調整が始まります。
自動調整が終わると、通常画面に戻ります。

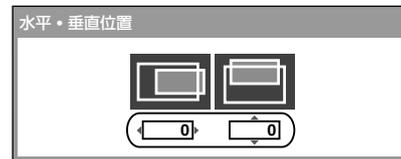
手動で調整する

水平・垂直位置	画面の水平・垂直位置を調整します。
クロック周波数	映像に縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
クロック位相	文字などの表示中にチラツキがあるときや、コントラストがつかないときに調整します。

リモコン　本体の操作パネル

1 リモコンの［ホームメニュー］、または本体の HOME MENU を押す

2 その他の設定 を選んで、リモコンの（決定）、または本体の ENTER/DISP. を押す

3 画面の手動調整 を選んで、リモコンの（決定）、または本体の ENTER/DISP. を押す

4 水平・垂直位置 を選んで、リモコンの（決定）、または本体の ENTER/DISP. を押す

5 ↑↓←→で、上下左右の位置を調整する

6 リモコンの［戻る］、または本体の RETURN を押す

7 クロック周波数 または クロック位相 を選んで、リモコンの（決定）、または本体の ENTER/DISP. を押す

8 ←→で調整する

お知らせ
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・リモコンの［ホームメニュー］、入力［1］～［6］
  - ・本体の HOME MENU、INPUT

画面の調整を元に戻すには　［初期状態に戻す］

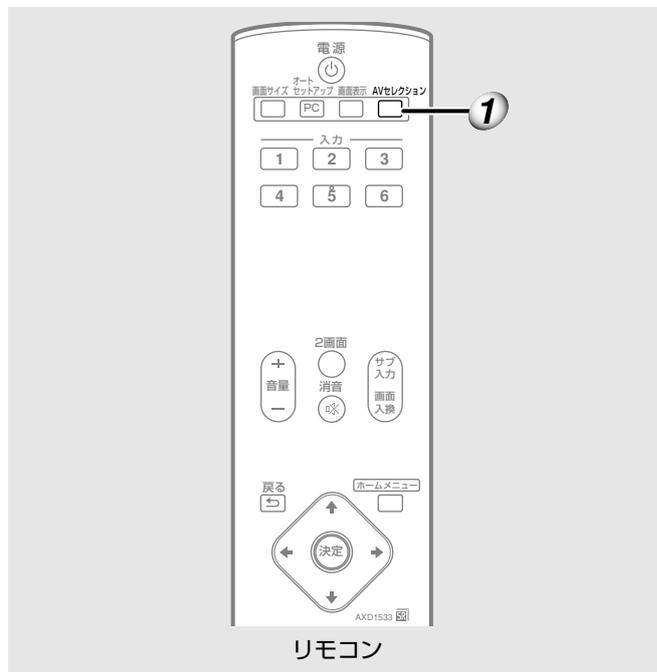
調整した画面の状態をお買い上げ時の設定に戻したいときは、「初期状態に戻す」を選んでリモコンの（決定）、または本体の ENTER/DISP. を押します。確認の画面が表示されたら「する」を選んでリモコンの（決定）、または本体の ENTER/DISP. を押してください。

お好みの画質・音質モードを選ぶ

本機には、映画やゲームなどを最適な画質・音質で楽しむための5種類の設定が用意されています。

標準	標準的な画質・音質の設定です。
ダイナミック	コントラストを最大限に引き上げた、メリハリの非常に強い映像にします。
映画	コントラスト感を抑えて、暗い映像を見やすくします。
ゲーム	テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。
AV メモリー	お好みに合わせて調整することができます。

お知らせ

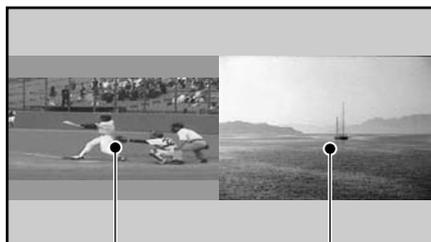
- ご家庭では「標準」でご使用になることをお勧めします。
- 画質･音質モードは、入力ごとに選べます。
- パソコン接続時（PC入力）は、「標準」と「AVメモリー」の2種類になります。

リモコン

1 リモコンの AVセレクション を押す

押すたびに、画質・音質モードが切り換わります。

2 画面表示にする

本機は2つの入力を同時に表示させることができます。

画面を2分割して表示します。

ご注意

- 長時間2画面表示にしたり、短時間でも毎日繰り返し2画面表示にすると、焼き付きによる残像が出ることがあります。

お知らせ

- 2画面表示のとき、スピーカーからは主画面の音声が聞こえます。
- 次の場合は、2画面表示ができません。
  — 同じ入力同士(例:入力1と入力1)
  — 入力2と入力3
- 2画面表示中は、操作に制限があります。
- 2画面表示にしたとき、映像によっては、右側の画面(副画面)が粗く見えることがあります。

リモコン　本体の操作パネル

1 リモコンの 2画面 を押す

2 画面表示に変わります。

2 2画面表示を終了するときは、リモコンの ホームメニュー 、または本体の HOME MENU を押す

主画面の入力を切り換える

1 リモコンの入力 1 〜 6 、または本体の INPUT を押して、入力を選ぶ

副画面の入力を切り換える

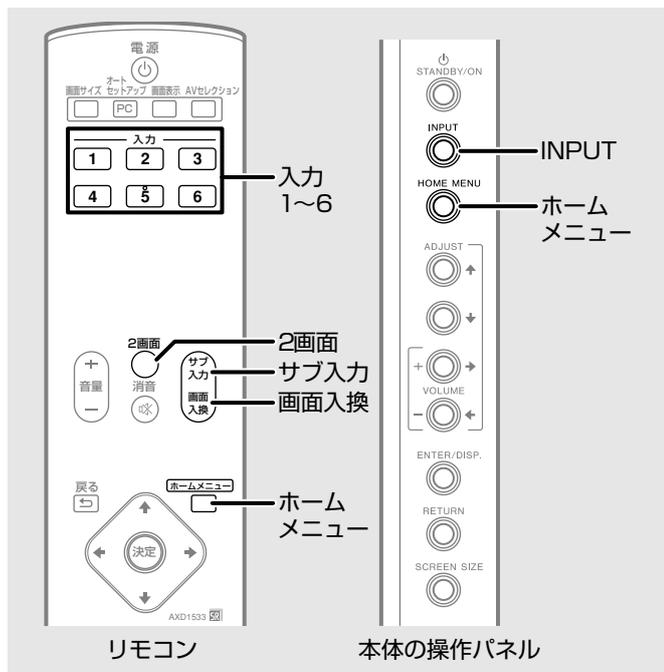
1 リモコンの サブ入力 を押す

押すたびに、入力が切り換わります。

画面を入れ換える

2画面表示のときに、画面を入れ換えて操作できる画面を切り換えます。

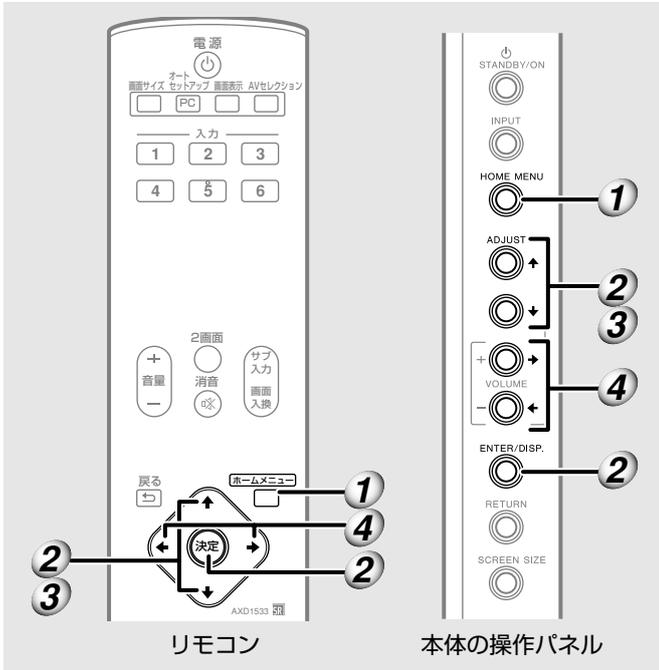
1 リモコンの 画面入換 を押す

押すたびに、現在表示中の2つの画面の内容が入れ換わります。

メニュー表示言語を設定する

メニュー表示言語の工場出荷設定は、日本語になっています。
以下の手順に従って、お好みの言語に変更することができます。

リモコン　　本体の操作パネル

1 リモコンの［ホームメニュー］、または本体の［HOME MENU］を押す

2 リモコン、本体の↑ ↓で［初期設定］を選んで、リモコンの［決定］、または本体の［ENTER/DISP.］を押す

3 リモコン、本体の↑ ↓で［言語］を選ぶ

4 リモコン、本体の← →でご希望の言語を選ぶ

お知らせ

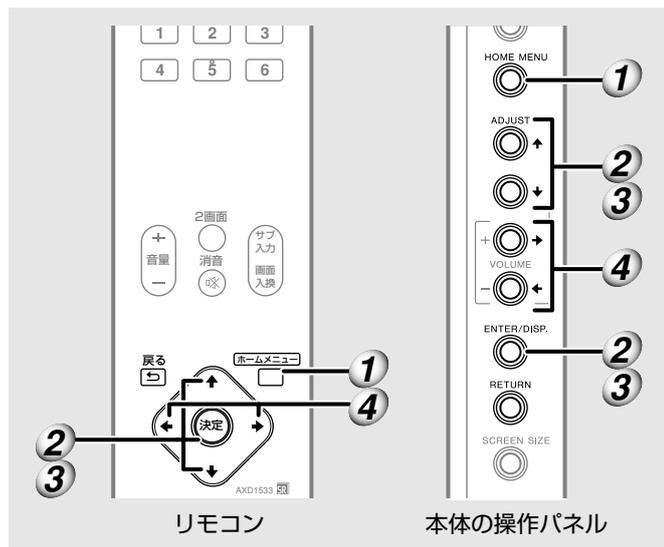
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・ リモコンの［ホームメニュー］、入力［1］〜［6］
  - ・ 本体の［HOME MENU］、［INPUT］

お好みの画質に調整する

画質・音質モードを、お好みの画質に調整できます。あらかじめ調整をしたい画質・音質モードに切り換えください。（画質・音質モード☞35ページ）

画質を調整する
（ビデオ入力時）

ご注意
- 画質･音質モードが｢ダイナミック｣のときは画質調整できません。

コントラスト	部屋の明るさに合わせて明るさを調整します。
明るさ	暗い場面が見やすくなるように調整します。
色の濃さ	お好みの色の濃さに調整します。
色あい	肌色がきれいに見えるよう調整します。
シャープネス	映像のくっきり感を調整します。

リモコン　本体の操作パネル

1 リモコンの ホームメニュー 、または本体の HOME MENU を押す

2 画質の調整 を選んで、リモコンの 決定 、または本体の ENTER/DISP. を押す

3 ↑ ↓で調整したい項目を選んで、リモコンの 決定 、または ENTER/DISP. を押す

4 ← →でお好みの画質に調整する

お知らせ
- 他の項目を調整するときは、リモコンの 戻る または本体の RETURN を押して手順3と4を繰り返します。
- 手順4の調整中に↑ ↓を押すと、調整項目を直接切り換えられます。
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - リモコンの ホームメニュー 、入力 1 〜 6
  - 本体の HOME MENU 、INPUT

画質の調整を元に戻すには
［初期状態に戻す］

画質・音質モードの調整内容を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

お知らせ
- 初期状態に戻したい画質･音質モードにあらかじめ切り換えてください。（画質･音質モード☞35ページ）

リモコン　本体の操作パネル

1 リモコンの ホームメニュー 、または本体の HOME MENU を押す

2 画質の調整 を選んで、リモコンの 決定 、または本体の ENTER/DISP. を押す

3 初期状態に戻す を選んで、リモコンの 決定 、または本体の ENTER/DISP. を押す

4 ↑ ↓で する を選んで、リモコンの(決定)、または本体の ENTER/DISP. を押す

お知らせ

- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・ リモコンの ホームメニュー、入力 1 〜 6
  - ・ 本体の HOME MENU 、 INPUT

画質を調整する
（パソコン（PC）入力時）

画質・音質モードを、お好みの画質に調整できます。あらかじめ調整をしたい画質・音質モードに切り換えてください。(画質・音質モード ☞35ページ、音質を調整するときは ☞42ページ)

リモコン　　本体の操作パネル

1 リモコンの ホームメニュー、または本体の HOME MENU を押す

2 画質の調整 を選んで、リモコンの(決定)、または本体の ENTER/DISP. を押す

3 ↑ ↓で調整したい項目を選んで、リモコンの(決定)、または本体の ENTER/DISP. を押す

コントラスト	部屋の明るさに合わせて明るさを調整します。
明るさ	暗い場面が見やすくなるように調整します。
R レベル	お好みの赤色に調整します。
G レベル	お好みの緑色に調整します。
B レベル	お好みの青色に調整します。

4 ← →で調整する

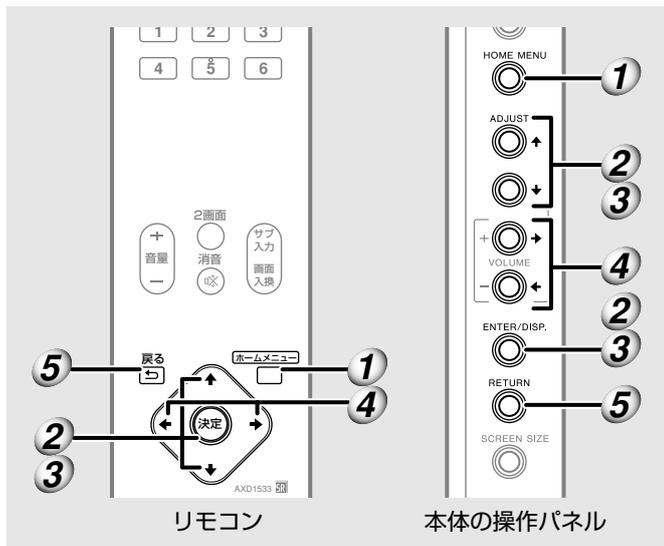
→で＋側に、← で−側に調整できます。

5 リモコンの 戻る、または本体の RETURN を押して、手順3と4を繰り返す

お知らせ

- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・ リモコンの ホームメニュー、入力 1 〜 6
  - ・ 本体の HOME MENU 、 INPUT

映像の調整を元に戻すには ［初期状態に戻す］

調整した画質をお買い上げ時の設定に戻したいときは、「初期状態に戻す」を選んでリモコンの、(決定)または本体の ENTER/DISP. を押します。確認の画面が表示されたら「する」を選んでリモコンの、(決定)または本体の ENTER/DISP. を押してください。(詳しい操作方法 ☞38ページ)

詳細な画質調整をする

（ビデオ入力時のみ）

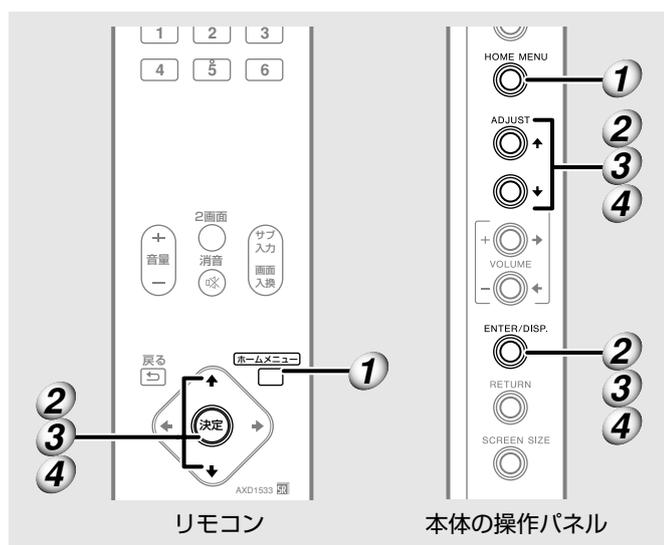
よりきめ細かく画質調整（プロ設定）ができます。調整をしたい画質・音質モードにあらかじめ切り換えてください。（画質・音質モード☞35ページ）

ピュアシネマ	フィルム収録の映像を高画質で再生できます。
カラーディテール	色温度など詳細な色調整ができます。
ノイズリダクション	映像のざらつきを軽減することができます。
DRE	映像のコントラストや明るさを詳細に調整できます。
動き補正	映像に適した画像補正を詳細に調整できます。

ご注意

- 画質·音質モードが「ダイナミック」のときは画質調整できません。
- 1125p@50 Hz、または1125p@60 Hz信号入力時には、いくつか調整できないモードがあります。

プロ設定画面を表示する

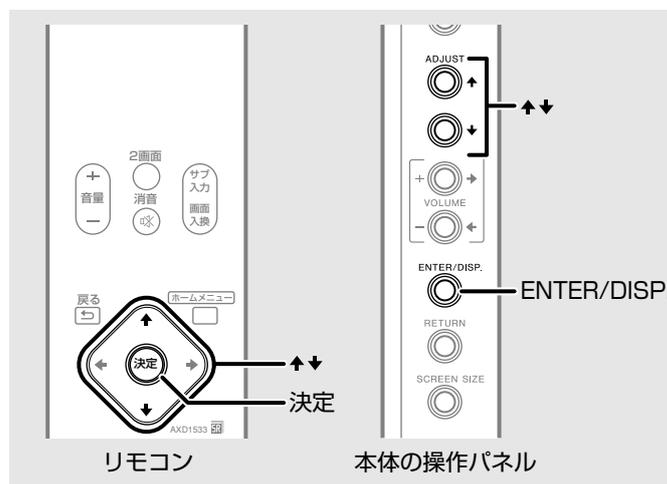
リモコン　本体の操作パネル

1. リモコンの ホームメニュー、または本体の HOME MENU を押す
2. 画質の調整 を選んで、リモコンの 決定、または本体の ENTER/DISP. を押す
3. プロ設定 を選んで、リモコンの 決定、または本体の ENTER/DISP. を押す

4. プロ設定画面で設定したい項目を選んで、リモコンの 決定、または本体の ENTER/DISP. を押す

お知らせ

- 各設定項目は、以下の説明をご覧ください。
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - · リモコンの ホームメニュー、入力 1 〜 6
  - · 本体の HOME MENU 、INPUT

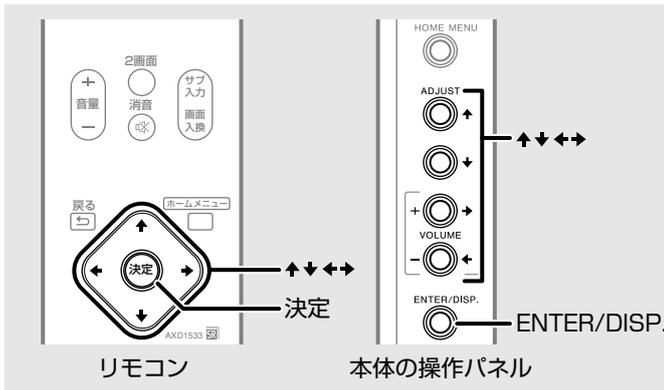
フィルム収録の映像を高画質に再生する
〔ピュアシネマ〕

リモコン　本体の操作パネル

↑ ↓で以下の項目を選んで、リモコンの 決定、または本体の ENTER/DISP. を押してください。

しない	ピュアシネマ機能を使いません。
標準	映画など毎秒24コマで収録されているDVDソフトやハイビジョン映像を表示するとき、記録されている映像情報を自動的に検出して、フィルム本来の滑らかで美しい映像を楽しめます。
アドバンス	映画など毎秒24コマで収録されているDVD ソフトを表示するとき、72 Hzに変換して再生することで、スクリーンで見るような滑らかな動きとフィルム映写の質感を楽しめます。

お知らせ

- 「標準」、「アドバンス」を選択できない信号は、以下のとおりです。
  - 「標準」を選択できない信号：525p、750p@60 Hz
  - 「アドバンス」を選択できない信号：625i、1125i@50 Hz、PAL、SECAM
  - 「標準」、「アドバンス」のどちらも選択できない信号：750p@50 Hz、625p、1125p

  上記で選択できない場合は、灰色で表示されます。
- 「アドバンス」にすると、映像信号によっては画面がちらついたり乱れることがあります。このような場合は、設定を「しない」または「標準」にしてください。

詳細な色調整をする
〔カラーディティール〕

以下の項目を選んで、リモコンの(決定)、または本体の(ENTER/DISP.)を押してください。
↑↓で設定を選んで、リモコンの(決定)、または本体の(ENTER/DISP.)を押すか、←→で調整します。

色温度	白色をお好みの色調に調整します。色温度が高いほど、青味が強く、低いほど、赤みが強い白になります。 • 「手動」では、お好みに応じてさらに詳細な色温度の調整ができます。
CTI	色の境目（輪郭）を鮮明にします。 • CTIは、Color Transient Improvement（カラー トランジェントインプルーブメント）の略です。
カラーマネージメント	色相を系列色ごとにより細かく調整します。

項目	←	→
R（赤）	マゼンタに近づく	黄に近づく
Y（黄）	赤に近づく	緑に近づく
G（緑）	黄に近づく	シアンに近づく
C（シアン）	緑に近づく	青に近づく
B（青）	シアンに近づく	マゼンタに近づく
M（マゼンタ）	青に近づく	赤に近づく

色温度を手動調整したいときは　［手動］

「色温度」で「手動」を選んで、リモコンの(決定)、または本体の(ENTER/DISP.)を３秒以上押してください。色温度の手動設定画面が表示されます。
RGB（赤・緑・青）のそれぞれの色成分で微調整ができます。

Rドライブ	明るい部分の微調整をします。	赤の強さを調整します。
Gドライブ	→：＋側	緑の強さを調整します。
Bドライブ	←：－側	青の強さを調整します。

Rカットオフ	暗い部分の微調整をします。	赤の強さを調整します。
Gカットオフ	→：＋側	緑の強さを調整します。
Bカットオフ	←：－側	青の強さを調整します。

映像のざらつきを軽減する
〔ノイズリダクション〕

以下の項目を選んで、リモコンの(決定)、または本体の(ENTER/DISP.)を押してください。
↑↓で設定を選んで、リモコンの(決定)、または本体の(ENTER/DISP.)を押します。

DNR	映像のざらつきを抑えて、すっきりさせます。 • DNRは、Digital Noise Reduction（デジタル ノイズ リダクション）の略です。
MPEG NR	デジタル放送やDVDなどのMPEG映像のざわつき（モスキートノイズ）を抑えて、映像をすっきりさせます。 • MPEG NRは、MPEG Noise Reduction（エムペグ ノイズ リダクション）の略です。

コントラストや明るさを詳細に調整する
〔DRE〕

以下の項目を選んで、リモコンの(決定)、または本体の(ENTER/DISP.)を押してください。
↑↓で設定を選んで、リモコンの(決定)、または本体の(ENTER/DISP.)を押します。

お知らせ

- DREは、Dynamic Range Expander（ダイナミック レンジ エキスパンダー）の略です。

ダイナミックコントラスト	映像のコントラストを強調して、明暗の差がはっきりした映像にします。
黒伸張	映像の暗い部分を強調して、明暗の差がはっきりした映像にします。
ACL	映像に適したコントラスト特性に補正します。 • ACLは、Automatic Contrast Limitter（オートマチック コントラスト リミッター）の略です。
ガンマ	映像の明暗バランスを調整します。

映像に適した画像補正にする
〔動き補正〕

以下の項目を選んで、リモコンの(決定)、または本体の(ENTER/DISP.)を押してください。
↑↓で設定を選んで、リモコンの(決定)、または本体の(ENTER/DISP.)を押します。

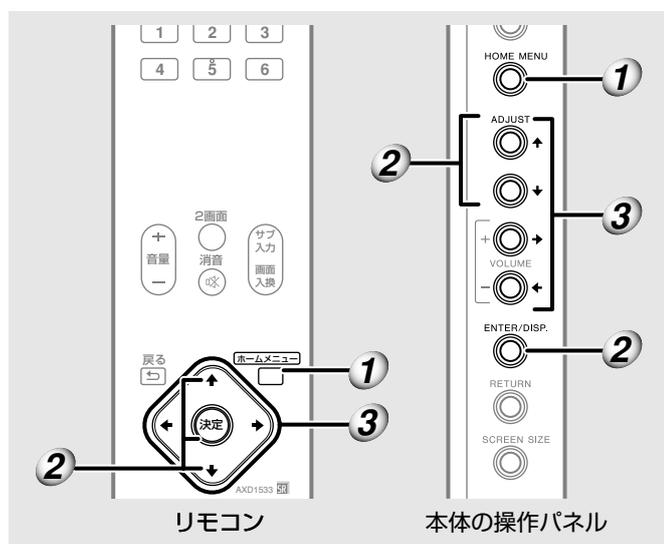
3DYC分離	映像に適したY/C分離特性にします。 「3DYC分離」を設定できる条件： 入力6から入力されたNTSC信号、またはPAL信号の場合、設定できます。
IP変換	映像に適したプログレッシブ変換を行います。 「IP変換」を設定できる条件： 入力信号がインターレースの場合、設定できます。

お好みの音質や音場に調整する

画質・音質モードを、お好みの音質や音場（サラウンド）に調整できます。
あらかじめ、調整したい画質・音質モードに切り換えてください。
（画質・音質モード☞35ページ）

お好みの音質にする

高音	高音の音量を調整します。
低音	低音の音量を調整します。
バランス	左右の音量を調整します。

リモコン　本体の操作パネル

1 リモコンの［ホームメニュー］、または本体の HOME MENU を押す

2 音質の調整 を選んで、リモコンの（決定）、または本体の ENTER/DISP. を押す

3 ↑ ↓で調整項目を選んで← →で調整する

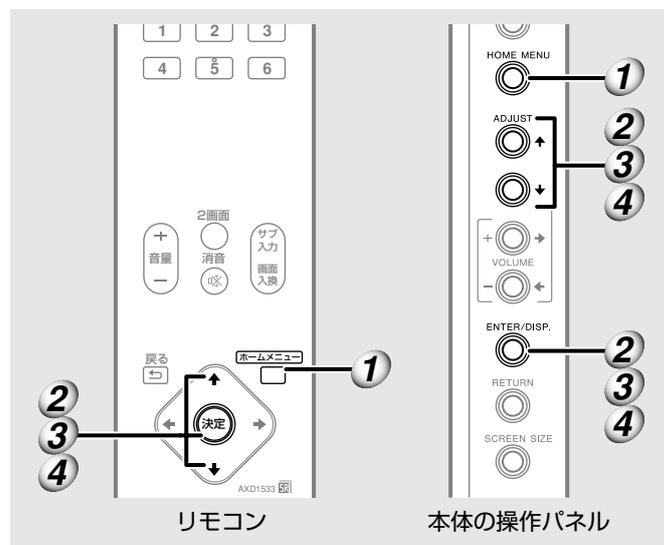
「高音」と「低音」は、→で＋側に、←で－側に調整できます。
「バランス」は、→で右のレベルが上がり、←で左のレベルが上がります。

お知らせ
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・リモコンの［ホームメニュー］、入力［1］～［6］
  - ・本体の HOME MENU 、 INPUT

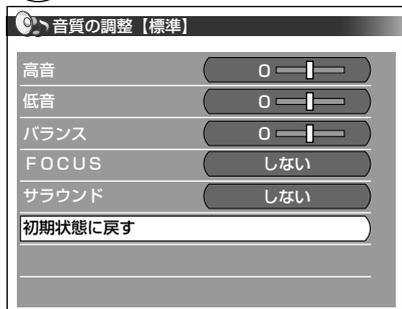
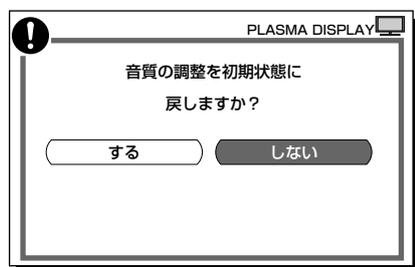
音質の調整を元に戻すには ［初期状態に戻す］

画質・音質モードの調整内容を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

お知らせ
- 初期状態に戻したい画質･音質モードにあらかじめ切り換えてください。（画質･音質モード☞35ページ）

リモコン　本体の操作パネル

1 リモコンの［ホームメニュー］、または本体の HOME MENU を押す

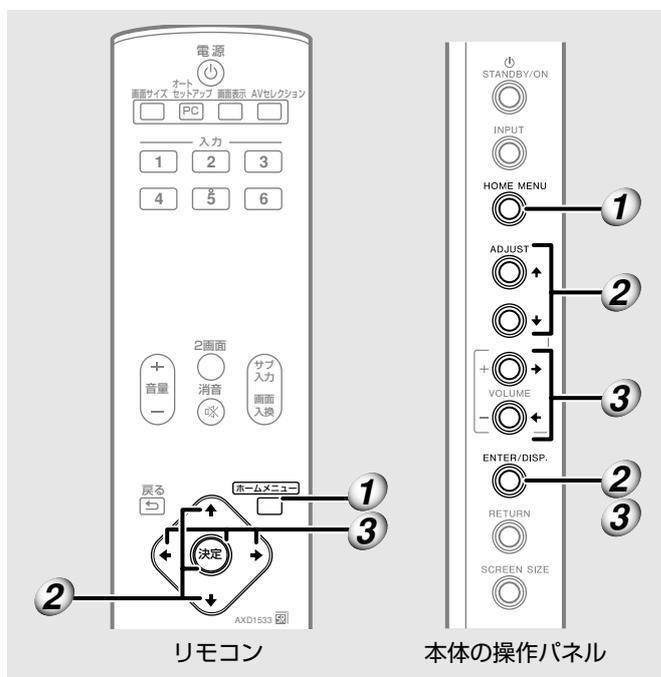
2 音質の調整 を選んで、リモコンの（決定）、または本体の ENTER/DISP. を押す

3 初期状態に戻す を選んで、リモコンの(決定)、または本体の ENTER/DISP. を押す

4 する を選んで、リモコンの(決定)、または本体の ENTER/DISP. を押す

お知らせ
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・ リモコンの ホームメニュー 、入力 1 ～ 6
  - ・ 本体の HOME MENU 、INPUT

お好みの音場にする

FOCUSとは、音が聞こえてくる方向(音像)を縦方向(上方向)に動かすとともに、音の輪郭を明確にする技術です。「する」に設定すると、画面の中から音が聞こえてくるような効果が得られます。
サラウンドでは、より自然で立体的な音声を再生する「SRS」、無理なく豊かな重低音を再生する「TruBass」を選べます。

FOCUS	音像（音の聞こえてくる方向）を上方向に引き上げ、音の輪郭を明確にする機能です。このFOCUS機能を使用「する」または「しない」を設定します。	
サラウンド	音の立体感と臨場感を高めるサラウンドの設定をします。次の４つから選びます。	
	しない	サラウンド機能を使いません。
	SRS	どの位置でも自然な立体音場が楽しめます。
	TruBass	無理のない豊かな低音を再生します。
	TruBass + SRS	TruBass と SRS の両方を使ったサラウンド効果が得られます。

お知らせ
- 「FOCUS」を「する」、「サラウンド」を「TruBass+SRS」にした状態をSRS(WOW)(ワウ)といいます。
- SRS(WOW)は、SRS Labs, Inc. の商標です。
- WOW技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- 効果の度合いは音声信号によって異なります。

1 リモコンの ホームメニュー 、または本体の HOME MENU を押す

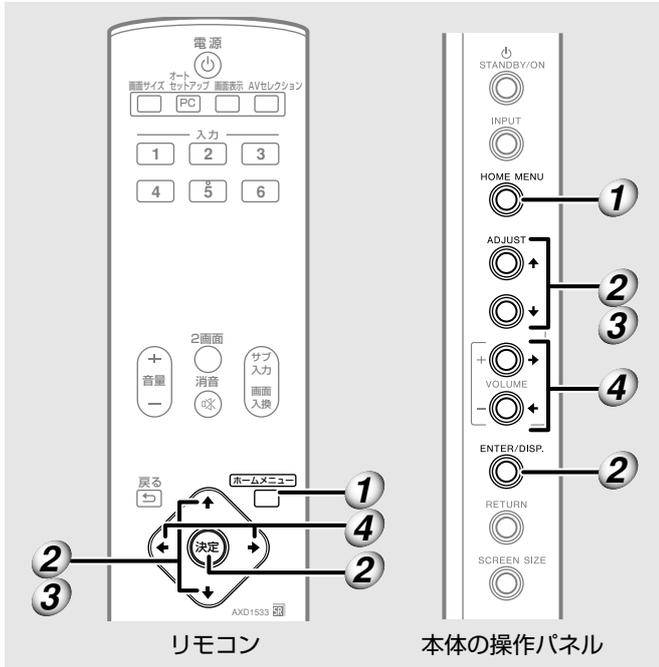
2 音質の調整 を選んで、リモコンの(決定)、または本体の ENTER/DISP. を押す

3 FOCUS と サラウンド で、設定したい値を選ぶ

◆◆で選びます。

お知らせ
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・ リモコンの ホームメニュー 、入力 1 ～ 6
  - ・ 本体の HOME MENU 、INPUT

ドライブモードを切り換える

映像の表示周波数を設定できます。
この機能は、PAL信号やSECAM信号のような、周波数が50 Hzの信号入力時のみ有効です。
（国内のテレビ放送や国内で販売されているDVDソフトの周波数は、通常60 Hzです。）

リモコン　　本体の操作パネル

お知らせ
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・リモコンの［ホームメニュー］、入力［1］～［6］
  - ・本体の［HOME MENU］、［INPUT］

1 リモコンの［ホームメニュー］、または本体の［HOME MENU］を押す

2 ［その他の設定］を選んで、リモコンの［決定］、または本体の［ENTER/DISP.］を押す

3 ↑ ↓で［ドライブモード］を選ぶ

4 ← →で設定したい値を選ぶ

その他の機能

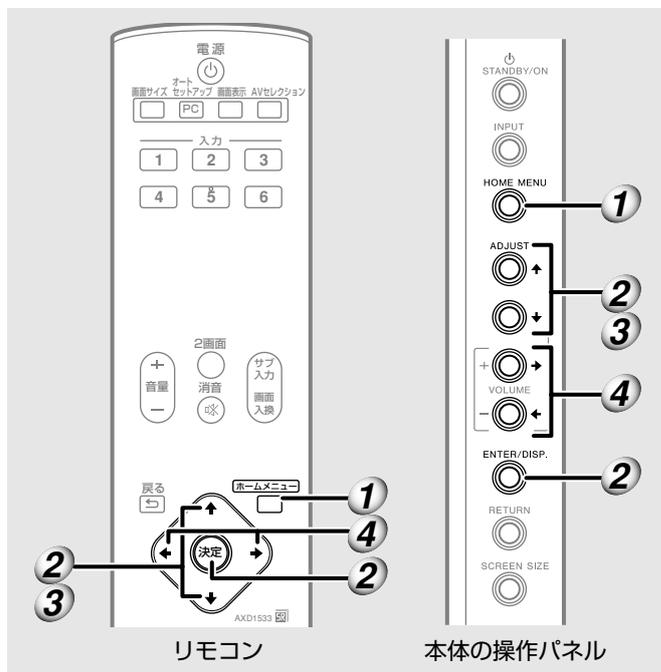
省エネ機能を使う

節電のための省エネ機能の設定をします。次の3つの省エネ機能があります。

<table>
<tr><td rowspan="4">消費電力</td><td colspan="2">消費電力を抑える機能を設定します。</td></tr>
<tr><td>標準</td><td>通常の明るい映像です。</td></tr>
<tr><td>省エネ1</td><td>明るさの低下を最小限にしながら節電します。</td></tr>
<tr><td>省エネ2</td><td>明るさを下げて、より消費電力を抑えます。</td></tr>
<tr><td>無信号オフ</td><td colspan="2">入力信号がなくなったときに、約8分後に自動的にスタンバイ状態にする機能です。
入力1～入力6で有効です。ただし、入力1と入力4では、「信号種別」が「PC」に設定されているときは無効です。
「する」または「しない」を選びます。</td></tr>
<tr><td>パワーマネージメント</td><td colspan="2">無信号の状態が約1分間続いたときに、自動的にスタンバイ状態にする機能です。
この機能によってスタンバイ状態に遷移した場合、信号の入力を検知すると再び通常状態に戻ります。
入力1～入力4で有効です。ただし、「信号種別」が「ビデオ」に設定されているときは無効です。
「する」または「しない」を選びます。</td></tr>
</table>

お知らせ

- 「無信号オフ」や「パワーマネジメント」を「する」に設定すると、スタンバイ状態になる直前にメッセージが表示されます。これらの機能は、ホームメニューを表示している間は動作しません。

リモコン　本体の操作パネル

1. リモコンの［ホームメニュー］、または本体の［HOME MENU］を押す

2. ［省エネの設定］を選んで、リモコンの［決定］、または本体の［ENTER/DISP.］を押す

3. 設定したい項目を↑ ↓で選ぶ

4. ← →で設定を選ぶ

お知らせ

- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・ リモコンの［ホームメニュー］、入力［1］～［6］
  - ・ 本体の［HOME MENU］、［INPUT］

入力４の設定をする

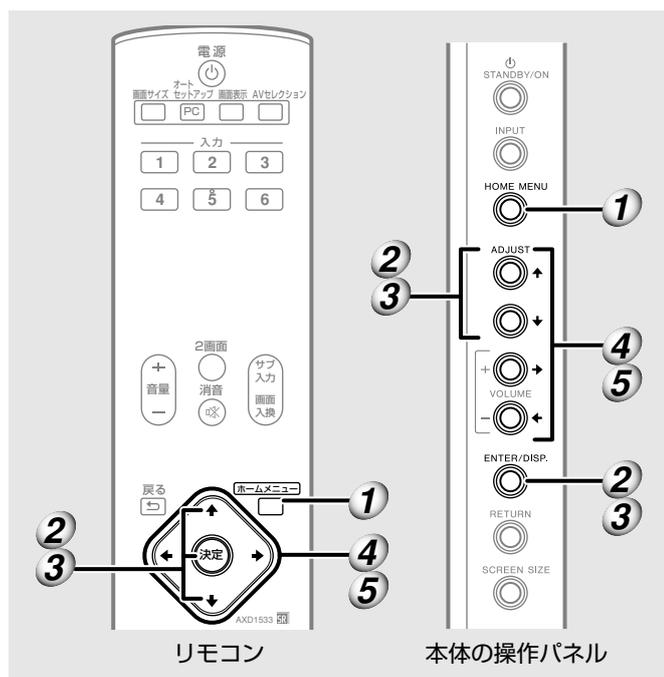
入力4に接続した機器を使うための設定をします。

確認してください！

□接続は終わっていますか？

□本機を設定する前に、入力4に接続した機器の出力信号を次のいずれかに設定してください。

- 本機で対応している映像信号
  - 1125p@24 Mz
  - 1125i@50 Hz
  - 1125i@59.94/60 Hz
  - 750p@50 Hz
  - 750p@59.94/60 Hz
  - 625p@50 Hz
  - 625i@50 Hz
  - 525p@59.94 Hz
  - 525i@59.94/60 Hz

リモコン　本体の操作パネル

1 リモコンの［ホームメニュー］、または本体の［HOME MENU］を押す

2 初期設定 を選んで、リモコンの（決定）、または本体の［ENTER/DISP.］を押す

3 入力4設定 を選んで、リモコンの（決定）、または本体の［ENTER/DISP.］を押す

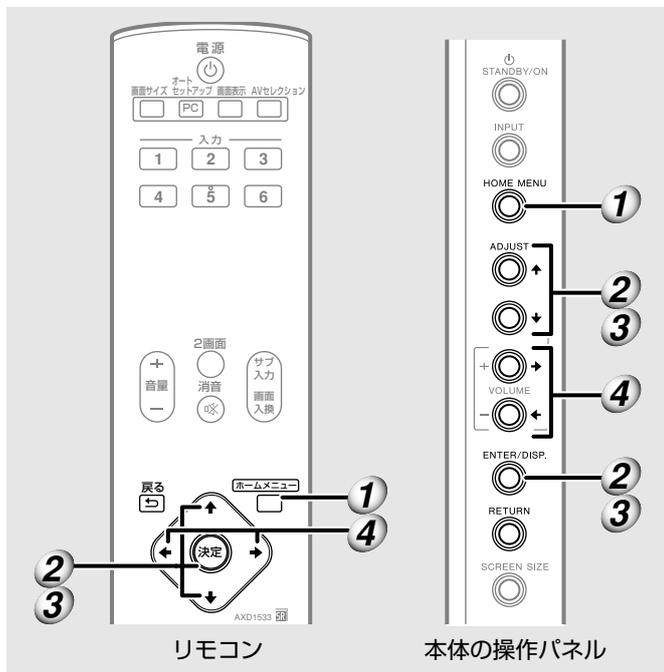
4 信号種別 を選んで、◀ ▶で ビデオ を選ぶ

5 カラーデコーディング を選んで、◀ ▶で コンポーネント を選ぶ

お知らせ

- この設定をするときは、接続している機器の取扱説明書もご覧ください。
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・リモコンの［ホームメニュー］、入力［1］～［6］
  - ・本体の［HOME MENU］、［INPUT］

カラーシステムの設定をする

入力5、または入力6に接続した場合、通常はカラーシステムを自動に設定しますが、
映像が鮮明でないときは、カラーシステムの設定を変更してください。

リモコン　本体の操作パネル

お知らせ

- 終了するときは､以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・ リモコンの ホームメニュー 、入力 1 〜 6
  - ・ 本体の HOME MENU 、 INPUT

1 リモコンの ホームメニュー 、または本体の HOME MENU を押す

2 初期設定 を選んで､リモコンの 決定 、または本体の ENTER/DISP. を押す

3 入力5設定 、または 入力6設定 を選んで、リモコンの 決定 、または本体の ENTER/DISP. を押す

4 ← →で カラーシステム を選ぶ

→を押すたびに、次の順で切り換わります。（←で逆順）

自動 ⇨PAL⇨SECAM⇨NTSC⇨4：43NTSC⇨PAL-M⇨PAL-N

HDMI 接続の設定をする

HDMIケーブルで接続した機器を使うための設定をします。必要に応じて映像と音声の設定もします。

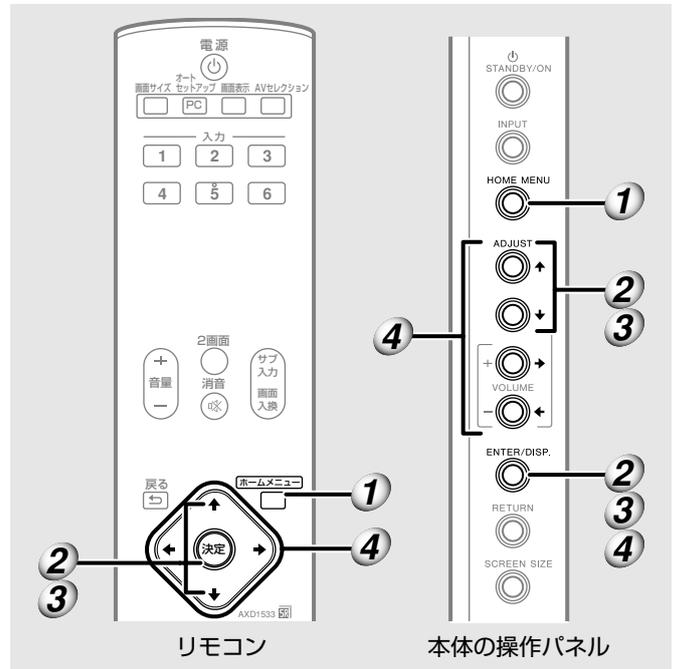
確認してください！

□接続は終わっていますか？

□本機を設定する前に、HDMI機器の出力信号を、次のいずれかに設定してください。

- 本機で対応している映像信号
  - 1125p@24 Hz
  - 1125p@50 Hz
  - 1125p@59.94/60 Hz
  - 1125i@50 Hz
  - 1125i@59.94/60 Hz
  - 750p@50 Hz
  - 750p@59.94/60 Hz
  - 625p@50 Hz
  - 625i@50 Hz
  - 525p@59.94 Hz
  - 525i@59.94/60 Hz
- 本機で対応している音声信号
  - リニア PCM（ステレオ　2ch）
    サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

リモコン　　本体の操作パネル

1 リモコンの[ホームメニュー]、または本体の[HOME MENU]を押す

2 [初期設定]を選んで、リモコンの[決定]、または本体の[ENTER/DISP.]を押す

3 [入力2設定]または[入力3設定]を選んで、リモコンの[決定]、または本体の[ENTER/DISP.]を押す

4 映像または音声を選ぶ

映像

● HDMI 端子から入力される映像信号の設定をします。←→で選んでください。

自動	入力信号に合わせて自動的に設定されます。
カラー1～カラー4	「自動」で色が正しく表示されないときに、正常に表示されるように最適な設定を選んでください。 カラー1：コンポーネントビデオ信号(4:2:2)固定 カラー2：コンポーネントビデオ信号(4:4:4)固定 カラー3：RGB信号(16-235)固定 カラー4：RGB信号(0-255)固定

音声

● HDMI 端子から入力される音声信号の設定をします。DVI 対応機器と接続するときは、音声入力端子にオーディオケーブルを接続し、「アナログ設定」に設定します。←→で選んでください。

自動	HDMI端子と音声入力端子を両方接続したときに選びます。自動的にデジタル音声とアナログ音声が切り換わります。
デジタル設定	HDMI端子だけ接続したときに選びます。HDMIのデジタル音声だけを再生します。
アナログ設定	HDMI端子と音声入力端子を両方接続したときに選びます。音声入力端子（アナログ）の音声だけを再生します。

お知らせ

- DVI対応機器を接続するときは、DVI-HDMI変換ケーブル（市販品）をご使用ください。
  DVI機器との接続時に本機と接続したスピーカーで音声をお楽しみになる場合は、オーディオケーブルも接続してください。
- DVI対応機器は入力1に接続することもできます。詳しくは「DVI機器をつなぐ」をご覧ください。(☞20ページ)。
- 接続する機器によっては、映像･音声が正しく表示されないことがあります。
- 接続する機器によっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・ リモコンの[ホームメニュー]、入力[1]～[6]
  - ・ 本体の[HOME MENU]、[INPUT]

DVI接続の設定をする

DVI-Dケーブルで接続したDVI対応機器を使うための設定をします。

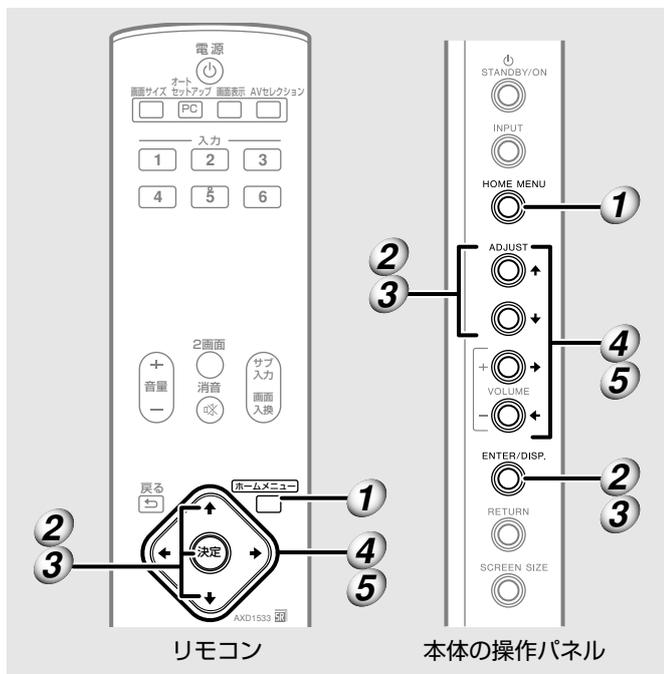
確認してください！

□接続は終わっていますか？

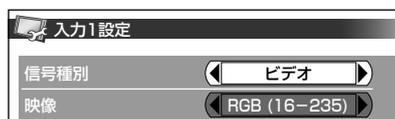
□本機を設定する前に、DVI対応機器の出力信号を、次のいずれかに設定してください。

- 本機で対応している映像信号
  - 1125i@50 Hz
  - 1125i@59.94/60 Hz
  - 750p@50 Hz
  - 750p@59.94/60 Hz
  - 625p@50 Hz
  - 525p@59.94 Hz

リモコン　本体の操作パネル

1 リモコンの ホームメニュー 、または本体の HOME MENU を押す

2 初期設定 を選んで、リモコンの 決定 、または本体の ENTER/DISP. を押す

3 入力1設定 を選んで、リモコンの 決定 、または本体の ENTER/DISP. を押す

4 信号種別 を選んで、←→で ビデオ を選ぶ

5 映像 を選んで、←→で RGB (16−235) または RGB (0−255) を選ぶ

RGB (16-235)	デジタルRGB信号（16〜235）に固定します。
RGB (0-255)	デジタルRGB信号（0〜255）に固定します。

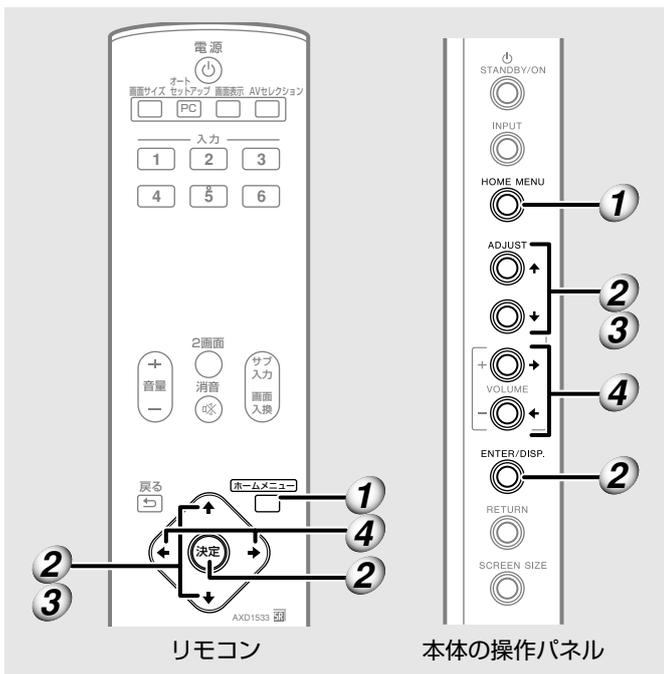
お知らせ

- 「映像」を設定するときは、接続している機器の取扱説明書もご覧ください。
- 映像が鮮明でない場合は、設定を変更してください。
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・ リモコンの ホームメニュー 、入力 1 〜 6
  - ・ 本体の HOME MENU 、INPUT

コントロール接続の設定をする

リモコン　本体の操作パネル

お知らせ
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・リモコンの［ホームメニュー］、入力［1］〜［6］
  - ・本体の HOME MENU 、INPUT

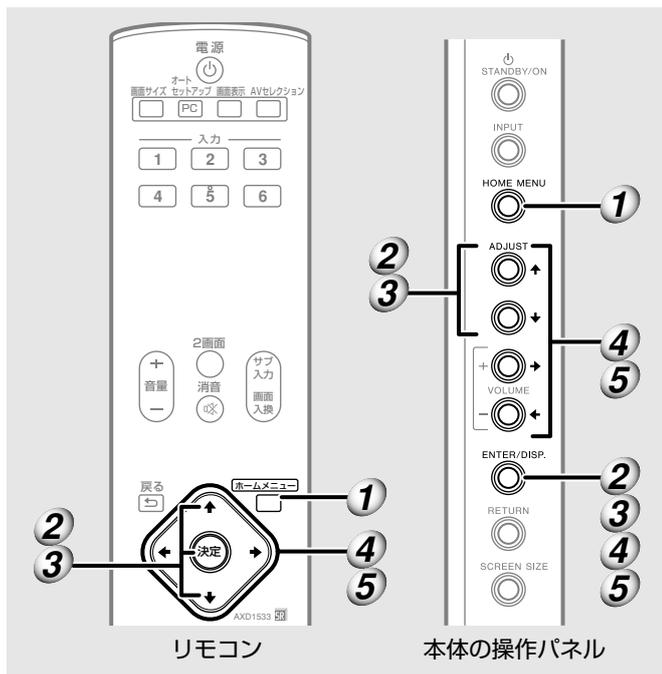
1. リモコンの［ホームメニュー］、または本体の HOME MENU を押す

2. 初期設定 を選んで、リモコンの［決定］、または本体の ENTER/DISP. を押す

3. SR+を選ぶ

初期設定	
言語	日本語
SR+	しない
入力1設定	
入力2設定	
入力3設定	
入力4設定	
入力5設定	
入力6設定	

4. する を選ぶ

パソコン接続の設定をする

リモコン　本体の操作パネル

1 リモコンの［ホームメニュー］、または本体の［HOME MENU］を押す

2 初期設定 を選んで、リモコンの（決定）、または本体の［ENTER/DISP.］を押す

3 入力1設定 または 入力4設定 を選んで、リモコンの（決定）、または本体の［ENTER/DISP.］を押す

入力１を選んだ場合

4 信号種別 を選んで、◀ ▶で PC を選ぶ

入力４を選んだ場合

4 信号種別 を選んで、◀ ▶で PC を選ぶ

XGA 信号または WXGA 信号を入力する場合

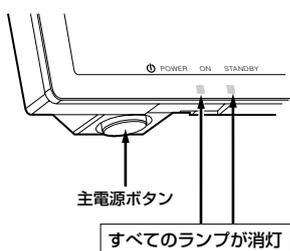
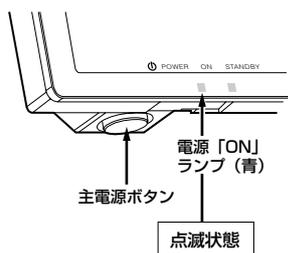
5 XGA／WXGA設定 を選んで、◀ ▶でお好みの設定を選ぶ

お知らせ

- 通常は「自動」を選んでください。選択した状態で正しく表示できないときは、「XGA」または「WXGA」を選択してください。
- 終了するときは、以下のいずれかのボタンを押してください。
  - ・ リモコンの［ホームメニュー］、入力［1］〜［6］
  - ・ 本体の［HOME MENU］、［INPUT］

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まずは以下の内容をチェックしてください。ちょっとした操作ミスや接続ミスを故障と思い込んでしまうことがあります。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の機器などもあわせてお調べください。
以下の項目に従ってもう一度点検しても直らないときは、ご購入店にお問い合わせください。連絡先がわからないときなどは、パイオニア修理受付センターにご連絡ください。

電源「ON」ランプ/STANDBYランプについて

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● ランプがすべて消灯している 	• 電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。☞23 ページ
	• 主電源は入っていますか。	本体下の主電源ボタンを押して、主電源を入れてください。☞27ページ
● 電源「ON」ランプ（青）が点滅している 1 秒点灯、1 秒消灯を繰り返す。 	―――	パワーマネージメントの設定を「する」にした状態で信号入力がなくなったことを検知したために、スタンバイ状態に遷移しています。☞45 ページ 以下の条件で、電源が入ります。 • 本体の INPUT を押したとき • リモコンの入力 1 ～ 6 を押したとき • 再び信号が入力されたとき
● 電源「ON」ランプ（青）、または STANDBY（赤）が早い点滅を繰り返している 1 秒点灯、1 秒消灯を数回行い、インターバルを2.5 秒とる。この一連の動作を繰り返す。 	• 本機の保護回路が動作したと考えられます。	本体下の主電源ボタンを押して主電源を切り、1 分以上たってからもう一度、電源を入れてください。 ☞27 ページ それでも正常に動作しないときは、ご購入店にご相談ください。連絡先がわからないときなどは、パイオニア修理受付センターにご連絡ください。

全般

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 表示がおかしい ● 急にリモコンで操作できなくなった	――――	動作がおかしいと感じたときは、本体下の主電源ボタンで電源を切って、約1分以上お待ちになった後、もう一度電源を入れてください。☞27ページ
● 電源が入らない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。☞23ページ
	• 主電源は入っていますか。 主電源が入っているときは、電源「ON」ランプが青色で、またはSTANDBYランプが赤色で点灯します。	本体下の主電源ボタンを押して、主電源を入れてください。☞27ページ
● 突然電源が切れた ● 映像も音声も出ない	• 電源「ON」ランプ（青）、またはSTANDBYランプ（赤）が早い点滅を繰り返していませんか。☞53ページ	本機の保護回路が動作したと考えられます。本体下の主電源ボタンを押して主電源を切り、1分以上たってからもう一度、主電源を入れてください。☞27ページ それでも正常に動作しないときは、ご購入店にご連絡ください。連絡先がわからないときなどは、パイオニア修理受付センターにご連絡ください。
● 映像も音声も出ない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。☞23ページ
● リモコンで操作できない ● 電源が入らない	• リモコンをディスプレイのリモコン受光部に向けていますか。リモコン受光部の前に障害物があったり、蛍光灯などの強い照明が当っていませんか。	リモコンはディスプレイ右下のリモコン受光部に向けてお使いください。☞17ページ
	• 電池の極性（＋極／－極）が逆になっていませんか。	リモコンの乾電池を正しく入れてください。☞17ページ
	• リモコンの乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池を正しく入れてください。☞17ページ
● 片方しか音が出ない	• 「バランス」が正しく調整されていますか。	左右の音量バランスを調整してください。☞42ページ
	• 音声端子は接続されていますか。	• 音声端子を正しく接続してください。
	• スピーカーケーブルは接続されていますか。	• スピーカーケーブルを正しく接続してください。
● 映像は出るが音声が出ない	• 音量が最小になっていませんか。	リモコンの（＋ 音量）、または本体の（VOLUME）を押して音量を調整してください。☞27ページ
	• 消音状態になっていませんか。	リモコンの（消音）を押して、消音を解除してください。☞28ページ
	• 音声端子は接続されていますか。	音声端子を正しく接続してください。☞18、19、20、22ページ
	• スピーカーケーブルは接続されていますか。	• スピーカーケーブルを正しく接続してください。
● 色がうすい ● 色あいが悪い	• 色の濃さ、色あいなどは正しく調整されていますか。	画質の調整を確認して、お好みの画質に調整してください。☞38ページ
● 電源スタンバイ状態でもファンが回っている	• 電源スタンバイ状態にしてもファンはすぐに止まりません。ファンの回転が止まるまでに、数秒かかります。	本機の故障・不具合ではありません。
● ときどき「ピシッ」と音がする	• 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	
● ディスプレイから音がする	• ご使用中にディスプレイから駆動音が聞こえる場合があります。	

その他

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 画面に光らない点がある ● 画面に常時点灯している点がある	• プラズマディスプレイは、微細な画素の集合体で非常に精密な技術で作られており、ごく一部の画素が光らなかったり、常時点灯する場合があります。	本機の故障・不具合ではありません。
● プラズマディスプレイの電源を入れるとAMラジオにノイズが出る	• 本機は公的規格を満たしていますが、若干のノイズが出ています。AMラジオやパソコン、ビデオなどの機器を近づけると妨害を与えることがあります。	妨害を受ける機器を影響のないところまで本機から離してください。ポータブルAMラジオなどは、ラジオの向きを変えることによって、妨害が少なくなることがあります。
● ディスプレイパネルが熱い	• 本機を長時間使用すると、ディスプレイパネルの一部が熱を持つことがあります。手で触れると熱く感じるときもあります。	本機の故障・不具合ではありません。
● 前に表示していた画像が残像のように見える	• 静止画像や明るい画像を一定時間表示した後、暗めの画像を表示すると、静止画や明るい画像が残像のように見えるときがあります。	明るめの動画を数分表示することで解消できます。更に長時間の静止画表示は、画面を修復不可能な状態にする可能性がありますのでご注意ください。
● 画面の左右や上下と、中央の明るさや色調がちがう	• 左右や上下に黒帯が表示される映像を長時間表示し続けたり、短時間でも日常的に繰り返し表示すると、プラズマディスプレイの特性上、蛍光素材の焼き付きや残像が発生することがあります。	できるだけ黒帯が表示されない画面サイズを選択することをお勧めします。☞29 ページ
● HDMI 機器の映像も音声も出ない	• HDMI 入力の設定を確認してください。	適切な設定に変更してください。☞48 ページ
● HDMI 機器の映像は出るが音声が出ない	• HDMI 入力の「音声」が正しく設定されていますか。	HDMI 入力の「音声」を確認してください。☞48 ページ
	• HDMI ケーブルのみで接続されていますか？	HDMI ケーブルによる接続がうまく動作しない場合は、オーディオケーブルで接続してください。☞48 ページ
● HDMI 機器の音声は出るが映像が出ない	• HDMI ケーブルが抜けていませんか。または、抜けかかっていませんか。	HDMI ケーブルを確実に接続してください。☞48 ページ
	• 対応外の信号が入力されていませんか。	接続した HDMI 機器の設定を対応信号に変更してください。☞48 ページ

メッセージ表示一覧

本機では、状況に応じて、エラーメッセージが表示されます。主なメッセージと、対処方法は、次のとおりです。
当社にお問い合わせになるときは、メッセージの内容とコード番号をご確認のうえご連絡ください。

メッセージ	コード	内容・対応のしかた
内部温度上昇のため、電源をオフします。 PDP 周辺の温度を確認してください。	SD04	ディスプレイ周辺の温度が高くなっていませんか？ 周辺の温度などを確認してください。 次に、本体下の主電源ボタンを押して主電源を切り、1 分以上たってからもう一度、電源を入れてください。 ☞27 ページ
内部保護回路動作により、電源をオフします。 スピーカーケーブルはショートしていませんか。	SD05	スピーカーケーブルの接続をご確認ください。 ☞23 ページ 次に、電源ボタンを押して主電源を切り、1 分以上たってからもう一度、電源を入れてください。☞27 ページ

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保存してください。

保証期間は購入日から1年間です。
ただし、プラズマディスプレイのガラスパネル部分のみは2年間です。

ご注意

- 画素欠けについては故障･不良ではありませんので、保証の対象外です。
- お客様のご使用過程で発生したディスプレイの焼き付きも、保証の対象外です。
- 「使用上のご注意」（☞6ページ）をよくお読みのうえ、正しくご使用になることをお勧めいたします。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、修理についてのご相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

修理を依頼されるとき

53〜56 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
  「付近の目印もあわせてお知らせください」
- お名前
- お電話番号
- 製品名　　プラズマディスプレイ
- 型番　　PDP-5000EX
- お買い求め日
- 故障または異常の内容
  「できるだけ具体的に」
  「画面に表示されたコードやメッセージ」
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。テレビの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

愛情点検

長年ご使用のプラズマディスプレイ の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電源が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、「保証とアフターサービス」（上記）をお読みのうえ、修理受付センター（裏表紙）に点検をご依頼ください。

おもな仕様

型番			PDP-5000EX
型名			プラズマディスプレイ
ディスプレイパネル （画面寸法）			50V 型 AC 方式プラズマパネル （幅 110.4 cm、高さ 62.1 cm、対角 126.6 cm）
画素数			1920 × 1080
音声実用最大出力			13 W ＋ 13 W （JEITA）、8 Ω
定格電圧			AC100 V
定格周波数			50 Hz/60 Hz
消費電力			410 W
		待機時消費電力	0.3 W
入出力端子	映像入力	DVI 端子	1 系統 デジタル RGB 信号（DVI 準拠 TMDS 信号）
		HDMI 端子	2 系統
		BNC 端子（x5）	1 系統 コンポーネント映像信号 映像輝度（Y）信号：1 Vp-p/75 Ω / 同期負 色差（C_B/P_B、C_R/P_R）信号：0.7 Vp-p（カラー 100 %）/75 Ω アナログ RGB 映像信号 RGB 信号：0.7 Vp-p/75 Ω / 同期なし 同期信号（HD/VD）：TTL レベル / 正負極性 /75 Ωまたは 2.2 kΩ
		S2 ビデオ端子	1 系統 Y ／ C セパレート映像信号 映像輝度（Y）信号：1.0 Vp-p/75 Ω / 同期負 色（C）信号：0.286 Vp-p（バースト信号）/75 Ω（NTSC） 0.3 Vp-p/75 Ω（PAL）
		RCA ビデオ端子	1 系統 コンポジット映像信号 1.0 Vp-p/75 Ω / 同期負
	音声入力	RCA ピンジャック端子（L/R）	6 系統 0.5 Vrms/22 k Ω以上
	コントロール端子	入力	1 系統
		出力	1 系統
	スピーカー出力		8 Ω～ 16 Ω
外形寸法			幅 1282 mm、奥行 98 mm、高さ 750.5 mm
質量			39.8 kg

■製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■テレビのV型（50V 型など）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

■ HDMI 1.1、HDCP 1.1 準拠
HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）とは、デジタル画像信号を暗号化する著作権保護システムの 1 つです。

商標／著作権について

- 本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。
- 本機では画面表示にNEC のフォント「Font Avenue」を使用しています。

  ※ Font Avenue はNEC の登録商標です。
- SRS WOWは、SRS Labs, Inc. の商標です。

  WOW 技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- HDMI、HDMI ロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface はHDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- DVIは「Digital Visual Interface」の略称であり、DDWG（Digital Display Working Group）が提唱したデジタルディスプレイ用のインターフェイス規格です。

本取扱説明書に記載されている企業名や製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
また、各社の商標および登録商標について、特に注記のない場合でも、これを尊重いたします。

用語の解説

■ DVI (Digital Visual Interface)
デジタル ビジュアル インターフェイス

DVIは、パソコンとディスプレイ間などに用いられるデジタル画像伝送規格です。

■ HDMI (High-Definition Multimedia Interface)
ハイディフィニション・ マルチメディア・ インターフェイス

HDMIは、家電向けのデジタルデータの伝送規格です。映像のほかにマルチチャンネルのオーディオ信号や制御信号をデジタルのまま、1本のケーブルで伝送できます。

■ S1/S2 映像

従来のS(セパレート)映像信号に加えて、画面の横縦比(アスペクト比)を自動判別する信号を含む映像信号です。レターボックス映像(上下に黒帯のある横長映像)は「ズーム」に、スクイーズ映像(縦長に圧縮された映像)は「フル」になります。

■ コンポジット接続

通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。コンポジット接続では、黄・白・赤の3色に分かれたケーブルを使い、映像用には黄色のケーブルを接続します。

■ インターレース(飛び越し走査)

NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。次に偶数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像(フレーム)を作っていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレースを表します。

■ プログレッシブ(順次走査)

飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べてちらつきのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブを表しています。

メニュー一覧

ホームメニューには、以下の設定項目があります。

■ビデオ入力時のメニュー

- 画質の調整 ☞38ページ
  - コントラスト ☞38ページ
  - 明るさ ☞38ページ
  - 色の濃さ ☞38ページ
  - 色あい ☞38ページ
  - シャープネス ☞38ページ
  - プロ設定 ☞40ページ
    - ピュアシネマ ☞40ページ
    - カラーディテール ☞41ページ
    - ノイズリダクション ☞41ページ
    - DRE ☞41ページ
    - 動き補正 ☞41ページ
  - 初期状態に戻す ☞38ページ
- 音質の調整 ☞42ページ
  - 高音 ☞42ページ
  - 低音 ☞42ページ
  - バランス ☞42ページ
  - FOCUS ☞43ページ
  - サラウンド ☞43ページ
  - 初期状態に戻す ☞42ページ
- 省エネの設定 ☞45ページ
  - 消費電力 ☞45ページ
  - 無信号オフ ☞45ページ
  - パワーマネージメント ☞45ページ
- その他の設定 ☞31ページ
  - 画面位置の調整 ☞33ページ
    - 水平・垂直位置 ☞33ページ
    - 初期状態に戻す ☞33ページ
  - 画面サイズ自動切換 ☞31ページ
  - ４：３信号の表示 ☞32ページ
  - ドライブモード ☞44ページ
- 初期設定 ☞37ページ
  - 言語 ☞37ページ
  - SR＋ ☞51ページ
  - 入力１設定 ☞50ページ
    - 信号種別 ☞50ページ
    - 映像 ☞50ページ
  - 入力２設定 ☞48ページ
    - 映像 ☞49ページ
    - 音声 ☞49ページ
  - 入力３設定 ☞48ページ
    - 映像 ☞49ページ
    - 音声 ☞49ページ
  - 入力４設定 ☞46ページ
    - 信号種別 ☞46ページ
    - カラーデコーディング ☞46ページ
    - XGA/WXGA設定 ☞52ページ
  - 入力５設定 ☞47ページ
    - カラーシステム ☞47ページ
  - 入力６設定 ☞47ページ
    - カラーシステム ☞47ページ

■パソコン（PC）入力時のメニュー

- 画質の調整 ☞39ページ
  - コントラスト ☞39ページ
  - 明るさ ☞39ページ
  - Rレベル ☞39ページ
  - Gレベル ☞39ページ
  - Bレベル ☞39ページ
  - 初期状態に戻す ☞39ページ
- 音質の調整 ☞42ページ
  - 高音 ☞42ページ
  - 低音 ☞42ページ
  - バランス ☞42ページ
  - FOCUS ☞43ページ
  - サラウンド ☞43ページ
  - 初期状態に戻す ☞42ページ
- 省エネの設定 ☞45ページ
  - 消費電力 ☞45ページ
  - 無信号オフ ☞45ページ
  - パワーマネージメント ☞45ページ
- その他の設定 ☞34ページ
  - 画面の手動調整 ☞34ページ
    - 水平・垂直位置 ☞34ページ
    - クロック周波数 ☞34ページ
    - クロック位相 ☞34ページ
    - 初期状態に戻す ☞34ページ
- 初期設定 ☞37ページ
  - 言語 ☞37ページ
  - SR＋ ☞51ページ
  - 入力１設定 ☞52ページ
    - 信号種別 ☞50ページ
    - 映像 ☞50ページ
  - 入力２設定 ☞48ページ
    - 映像 ☞49ページ
    - 音声 ☞49ページ
  - 入力３設定 ☞48ページ
    - 映像 ☞49ページ
    - 音声 ☞49ページ
  - 入力４設定 ☞52ページ
    - 信号種別 ☞52ページ
    - カラーデコーディング ☞52ページ
    - XGA/WXGA設定 ☞52ページ
  - 入力５設定 ☞47ページ
    - カラーシステム ☞47ページ
  - 入力６設定 ☞47ページ
    - カラーシステム ☞47ページ

索 引

数字・アルファベット

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

● **カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

・家庭用オーディオ/ビジュアル商品　**0070-800-8181-22**

一般電話：**03-5496-2986**

ファックス：**03-3490-5718**

インターネットホームページ：**http://www.pioneer.co.jp/support/index.html**

※商品について良くあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『**故障かな？と思ったら**』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名　②ご購入日　③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

● **修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　9：30～19：00、土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話：**0120-5-81028**（ゴー パイオニア）

一般電話：**03-5496-2023**

ファックス：**0120-5-81029**

インターネットホームページ：**http://www.pioneer.co.jp/support/repair.html**

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

一般電話：**098-879-1910**

ファックス：**098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

● **部品受注センター**

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話：**0120-5-81095**

一般電話：**0538-43-1161**

ファックス：**0120-5-81096**

Vol.16

お客様メモ

● 覚えのため記入されますと便利です。

お買い上げ店名 電話番号		お近くの ご相談窓口	
お買い上げ年月日	年　月　日		

JIS C 61000-3-2適合品

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<06C00000> <ARA1347-A>